

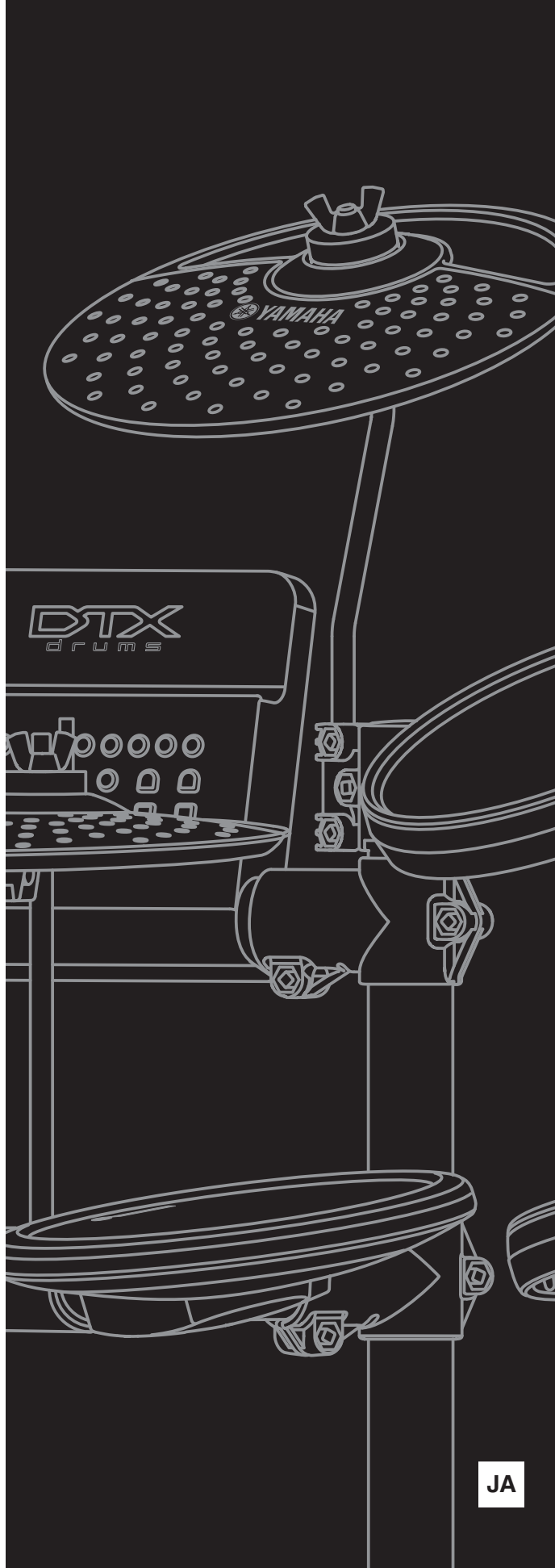


DTX
drums

電子ドラム

DTX400K
DTX430K
DTX450K

取扱説明書



目次

安全上のご注意	3
はじめに	6
取扱説明書の読み方	6

準備編

最初にやっていただくこと	7
同梱品について	8
組み立てる	11
音を出すまでの準備	19
電源を準備する	19
ヘッドフォンやスピーカーをつなぐ	19
携帯用音楽プレーヤーなどをつなぐ	19
電源を入れる	20
電源を切る	20
オートパワーオフ(自動電源オフ)	20
本体の設定を初期の状態に戻す (ファクトリーセット)	20
各部の名称と機能	21
フロントパネル	21
左サイドパネル	22
右サイドパネル	22

基本編

キットを選んで演奏する	23
キットを選ぶ	23
キットの感度を調節する	23
奏法について	24
スネアパッド	24
ハイハットシンバル	24
ソングに合わせて演奏する	25
ソングを選ぶ	25
ソングの音量を調節する	25
ミュートされたドラムパートの音量を調節する	26
ソングの一部をリピート再生する	26
クリック(メトロノーム)を使う	27
クリックを鳴らす/止める	27
クリックの音量を調節する	27
テンポの値を数字キーで確認する	27
テンポの値を音声ガイドで確認する	27
テンポを調節する	28
その他の設定をする	28

トレーニングモードで練習する	29
トレーニングモードの基本操作	29
1. グループチェック	30
2. リズムゲート	31
3. メジャーブレイク	32
4. テンポアップ/ダウン	33
5. チェンジアップ	34
6. イージーセッション	35
7. グループトラッカー	36
8. パッドゲート	37
9. パートミュート	38
10. ファストブラスト	39

応用編

メニューモードで詳細な設定をする	40
メニューモードの基本操作	40
1 クリック設定	41
2 キット設定	42
3 MIDI設定	44
4 ハイハット設定	45
5 トリガー設定	46
6 トレーニング設定	49
7 その他設定	53
別売品を取り付ける	56
DTX400Kをお買い求めのお客様	56
DTX430K/DTX450Kをお買い求めのお客様	56
コンピューターに接続する	57
コンピューターに接続する	57
MIDIリファレンスマニュアルについて	57

資料

困ったときは	58
データリスト	60
仕様	64
索引	65
保証とアフターサービス	66

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

電源アダプター



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。
また、電源コードに重いものをのせない。
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの(64ページ)を使用する。
異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

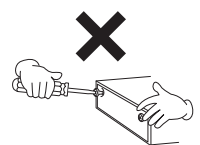
電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

組み立て



禁止

この製品の内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。



禁止

ラックに腰かけたり踏み台にしない。
転倒したり壊れたりして、けがの原因となります。



必ず実行

シンバルホルダーやタムホルダーの先端部分に注意する。
先端部分はとがっています。けがの原因になりますので、取り扱いにはじゅうぶん注意してください。



必ず実行

キックパッドやフットペダルに取り付けられているすれ防止用スパーに注意する。
先端部分がとがっています。けがの原因になりますので、取り扱いにはじゅうぶん注意してください。



必ず実行

固定用のナットなどはしっかり締め付ける。
また、固定用ナット類をゆるめる際は急激にゆるめないでください。パッドが落下したり、ラック、パイプ、スタンドの部品の落下、転倒などにより、けがの原因となります。



接続ケーブルの引き回しに注意する。
足を掛けて転倒するなど、けがの原因となります。

必ず実行

水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上にはろうそくなど火気のあるものを置かない。
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



注意

電源アダプター



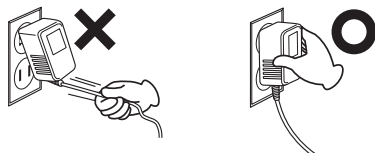
禁止

たこ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないとさや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。



必ず実行

クランプを調節する際、指に注意する。
指が挟まれてけがをするおそれがあります。



必ず実行

パイプの端面や内面およびネジの先端に注意する。
尖った部分などで指にけがをするおそれがあります。

設置



禁止

不安定な場所に置かない。
本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。

組み立て



必ず実行

本書の組み立て方の説明をよく読み、手順どおりに組み立てる。

手順どおりに正しく組み立てないと、楽器が破損したりお客様がけがをしたりする原因になります。



禁止

フットスイッチやフットペダルの下に、手や足を入れない。
挟まれてけがの原因となります。



禁止

電子ドラムラックには、アコースティックドラムを取り付けない。
クランプの破損や、ドラムの落下などで、けがをするおそれがあります。



必ず実行

この製品を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



必ず実行

指定のスタンド/ラックを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをされるおそれがあります。



禁止

パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方々がかげがをしたる原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを切った状態(電源ランプが消えている)でも微電流が流れています。[⏻](スタンバイ/オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■製品の取り扱い/お手入れに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃～40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。
- 音源モジュールをお手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。
- パッドをお手入れするときは、ベンジンやシンナー、アルコール類は使用しないでください。パッドを変色、変形させるおそれがあります。お手入れの際は、やわらかい布で乾拭きするか、水を含ませて固く絞った布を用いて汚れをふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を含ませた布を固く絞って汚れを拭き取り、そのあとで水を含ませて固く絞った布を用いて洗剤を拭き取ってください。

お知らせ

■データの著作権に関するお願い

- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータプログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を超えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

■取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

■パッドについて

この取扱説明書では、本体に接続できるパッドの品番を掲載していますが、これらは本書制作時点での最新品番です。その後発売された最新品番については、下記のウェブサイトでご確認いただけますよう、お願いいたします。

<http://jp.yamaha.com/dtx/>

※ウェブサイトのURLは予告無く変更することがあります。

はじめに

このたびは、ヤマハDTX400K/DTX430K/DTX450Kをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。本体の優れた機能を十分にご活用いただくために、この取扱説明書をよくお読みくださいますようにご案内申し上げます。また、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管いただきますようお願いいたします。

取扱説明書の読み方

■ 本書(準備編 / 基本編 / 応用編 / 資料)

準備編 : 本体の組み立て方や音を出すまでの準備方法について説明しています。

基本編 : 本体の基本的な使い方について説明しています。

応用編 : 本体をより詳細に使いこなす方法について説明しています。

資料 : 困ったときの解決方法をはじめ、各種資料を掲載しています。

■ MIDIリファレンスマニュアル(PDF) ※本製品には付属していません。

MIDIリファレンスマニュアルでは以下の資料を掲載しています。詳しくは57ページをご覧ください。

- MIDIに関する資料
- コンピューターを使って音楽制作をするときに参照する資料
- コンピューターを使って本体にソングを転送する方法

● PDFマニュアルの活用方法

MIDIリファレンスマニュアルは、電子ファイル(PDF形式)になっています。この電子ファイルは、コンピューターを使ってご覧いただくことができます。コンピューターでご覧いただくソフトウェアとして「Adobe® Reader®」を使うと、用語をすばやく検索したり、必要な部分のみ印刷したり、リンクをクリックして該当する項目を開いたりすることができます。特に用語検索とリンク機能は、電子ファイルならではの便利な機能です。ぜひご活用ください。

最新のAdobe Readerは下記のURLよりダウンロードできます。

<http://www.adobe.com/jp/products/reader/>

最初にやっていただくこと

1

箱を開けて同梱品を確認する



2

組み立てる

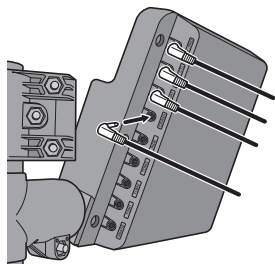
- 組み立てる手順は8ページ～18ページを参照。



3

接続する

- パッドと音源モジュールをケーブルでつなぐ。
→ 18ページを参照。
- 電源アダプターを音源モジュールにつないで、電源を入れる。
→ 19ページを参照。



4

演奏する

- 基本的な使い方は、基本編 (23ページ～39ページ) を参照。
- さらに詳しい使い方は、応用編 (40ページ～55ページ) を参照。



同梱品について

梱包箱を開けたら、すべての部品がそろっていることを確認してください。

DTX400Kをお買い求めのお客様

- ⑬、⑭、⑮はBOX1と書かれた箱に入っています。
 - ⑩、⑪はBOX2と書かれた箱に入っています。
 - DTX400Kには部品⑦、⑨、⑬はありません。
 - ⑭、⑮は非常に似ていますが、別の部品です。本体側面に貼られたシールを見て区別してください。
 - ③、⑧は非常に似ていますが、別の部品です。ウイングボルトがあるほうが⑧です。
- また、梱包箱の発泡スチロールに③はT、⑧はSと刻印されています。

① 脚パイプ (2本)



② 縦パイプ (2本)



③ タム3 (1個)



④ 左パイプ (1個)



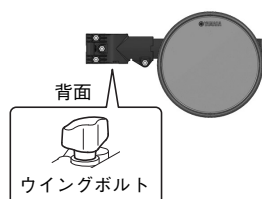
⑤ 音源モジュール (1個)



⑥ タム1&2 (1個)



⑧ スネアパッド (1個)



⑩ シンバルホルダー (2個)



⑪ ハイハットホルダー (1個)



⑫ シンバル/ハイハットパッド (3枚)



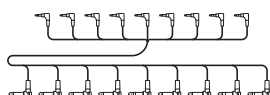
⑭ ハイハットコントローラー (1個)



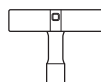
⑮ キックユニットKU100 (1個)



⑯ 9ch マルチケーブル (1組)



⑰ チューニングキー (1個)



⑱ ケーブルバンド (3本)



⑲ 電源アダプター (1個)

⑳ 取扱説明書 (本書)

DTX430Kをお買い求めのお客様

- ⑬、⑭、⑮はBOX1と書かれた箱に入っています。
- ⑩、⑪はBOX2と書かれた箱に入っています。
- DTX430Kには部品⑦、⑨はありません。

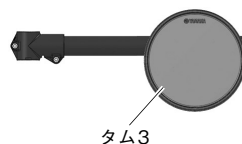
① 脚パイプ(2本)



② 縦パイプ(2本)



③ タム3(1個)



④ 左パイプ(1個)



⑤ 音源モジュール(1個)



⑥ タム1&2(1個)



⑧ スネアパッド(1個)



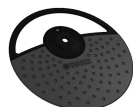
⑩ シンバルホルダー(2個)



⑪ ハイハットホルダー(1個)



⑫ シンバル/ハイハットパッド(3枚)



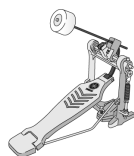
⑬ キックパッド KP65(1個)



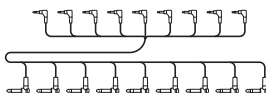
⑭ ハイハットコントローラー HH65(1個)



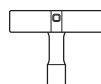
⑮ フットペダル FP6110A(1個)



⑯ 9ch マルチケーブル(1組)



⑰ チューニングキー(1個)



⑱ ケーブルバンド(3本)



⑲ 電源アダプター(1個)

⑳ 取扱説明書(本書)

DTX450Kをお買い求めのお客様

- ⑨、⑬、⑮、⑯はBOX1と書かれた箱に入っています。
- ⑦、⑩、⑪はBOX2と書かれた箱に入っています。

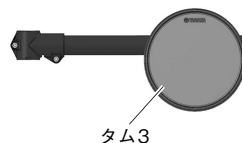
① 脚パイプ(2本)



② 縦パイプ(2本)



③ タム3(1個)



④ 左パイプ(1個)



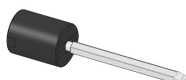
⑤ 音源モジュール(1個)



⑥ タム1&2(1個)



⑦ 六角ロッド(1個)



⑧ スネアパッドTP70S(1個)



⑨ ウイングボルトS(1個)



⑩ シンバルホルダー(2個)



⑪ ハイハットホルダー(1個)



⑫ シンバル/ハイハットパッド(3枚)



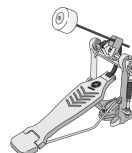
⑬ キックパッド
KP65(1個)



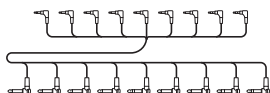
⑭ ハイハットコントローラー
HH65(1個)



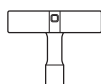
⑮ フットペダル
FP6110A(1個)



⑯ 9ch マルチケーブル(1組)



⑰ チューニングキー(1個)



⑱ ケーブルバンド(3本)

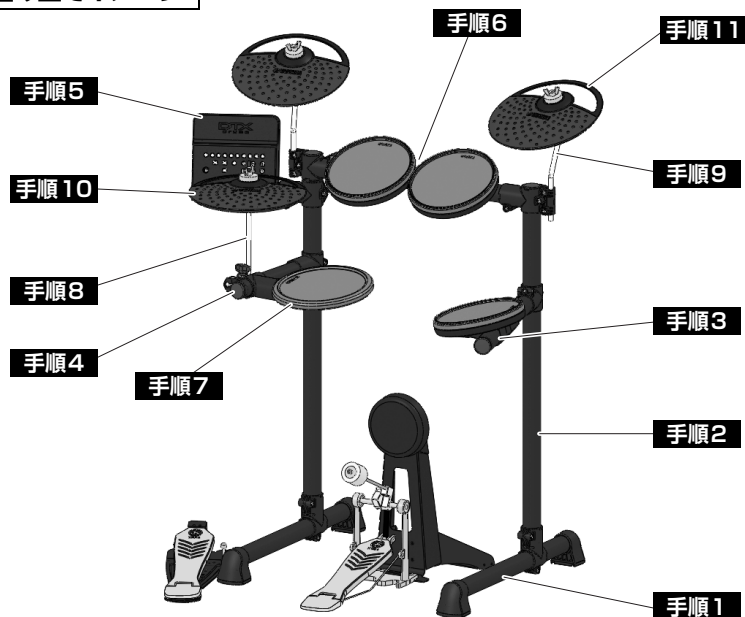


⑲ 電源アダプター(1個)

⑳ 取扱説明書(本書)

組み立てる

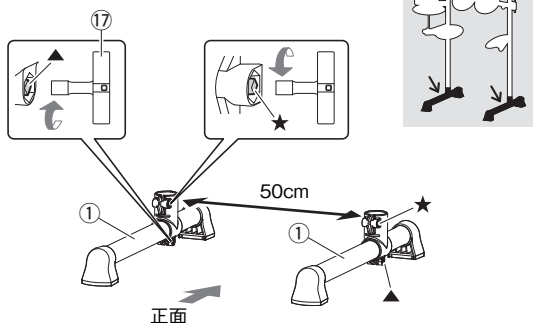
組み立てイメージ



⚠ 注意

- 硬くて平らな場所で組み立ててください。
- 部品をまちがえたり、向きをまちがえないように注意して、手順どおりに組み立ててください。
- 組み立ては、必ず2人以上で行なってください。
- ネジは各ユニット固定後、ゆるみがないようきつく締め直してください。
- 解体するときは、組み立てと逆の手順で行なってください。

手順1 脚パイプを設置する

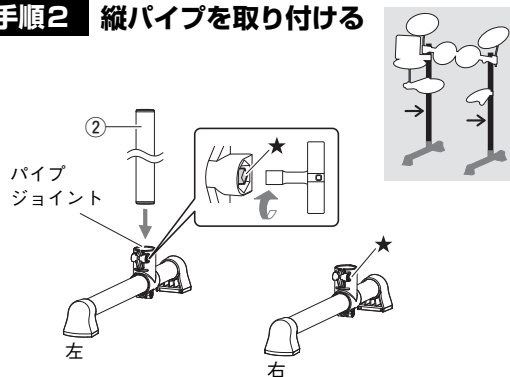


1. 脚パイプ2本(①)とチューニングキー(⑰)を用意し、キーボルト(ネジ、図▲)をチューニングキーでしっかり締めます。

NOTE 脚パイプ2本は同じ部品です。

2. 脚パイプ2本(①)の、おのおののキーボルト(図★)をチューニングキーでゆるめます。
3. 脚パイプ2本(①)を正面から見て図のような向きで、左右50cmほどの間隔を空けて置きます。

手順2 縦パイプを取り付ける



1. 縦パイプ(②)を用意し、左側の脚パイプにあるパイプジョイントの穴に、縦パイプ(②)を根元までさし込みます。

NOTE 縦パイプ2本は同じ部品です。

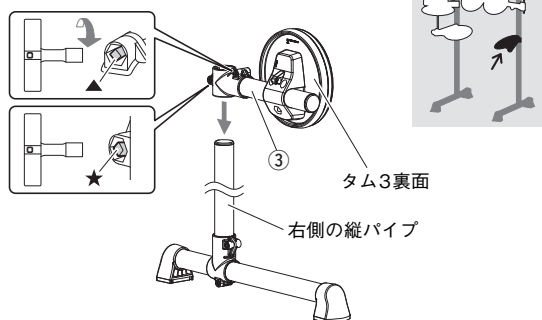
2. **手順1** でゆるめたキーボルト(図★)をチューニングキーで締めて縦パイプ(②)を固定します。

⚠ 注意

縦パイプは転倒しやすいので、いったん安全な場所に寝かせてください。

3. 右側も1.～2.の手順を繰り返して取り付けます。

手順3 タム3を取り付ける



【重要】

DTX400Kでは、タム3(③)とスネアパッド(⑧)が非常に似ているので、間違えないように取り付けてください。③と⑧の違いはウイングボルトのある/なしです。詳しくは8ページの図をご覧ください。

1. タム3(③)を用意し、キーボルト(図▲)をチューニングキーでしっかり締めます。
2. キーボルト(図★)をゆるめます。
3. 右側の縦パイプに、タム3(③)を縦パイプの半分くらいの高さまでさし込みます。タム3をさし込む向きは、上図を参考にしてください。

NOTE タム3の上下や表裏の向きを間違えないようにさし込んでください。

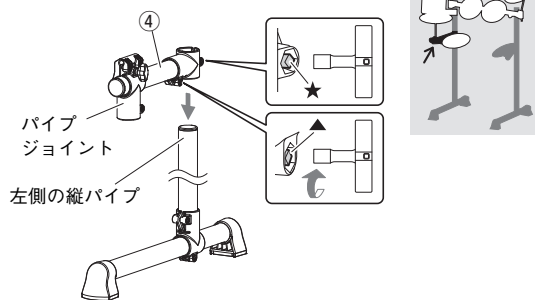
4. キーボルト(図★)を締めてタム3(③)を固定します。

⚠ 注意

縦パイプは転倒しやすいので、いったん安全な場所に寝かせてください。

NOTE タム3のパッドの向きは、手順12で調節します。

手順4 左パイプを取り付ける



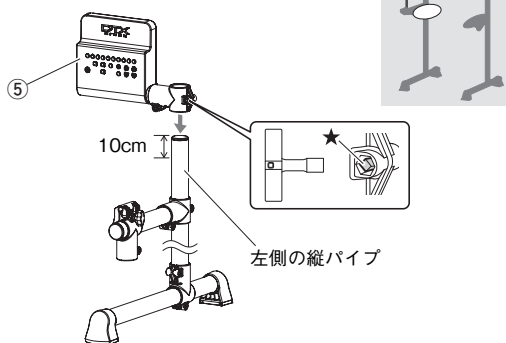
図のパイプジョイントはDTX400Kには付属していません。

1. 左パイプ(④)を用意し、キーボルト(図▲)をチューニングキーでしっかり締めます。
2. キーボルト(図★)をゆるめます。
3. 左側の縦パイプに、左パイプ(④)を縦パイプの半分くらいの高さまでさし込みます。左パイプをさし込む向きは、上図を参考にしてください。
4. キーボルト(図★)を締めて左パイプ(④)を固定します。

⚠ 注意

縦パイプは転倒しやすいので、いったん安全な場所に寝かせてください。

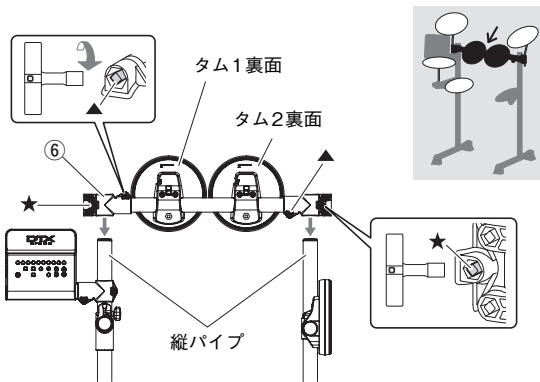
手順5 音源モジュールを取り付ける



1. 音源モジュール(⑤)を用意し、キーボルト(図★)をゆるめます。
2. 左側の縦パイプに、音源モジュール(⑤)を縦パイプの上端から10cmほどの高さまでさし込みます。音源モジュールをさし込む角度は、図を参考にしてください。
3. キーボルト(図★)を締めて音源モジュール(⑤)を固定します。

⚠ 注意

縦パイプは転倒しやすいので、いったん安全な場所に寝かせてください。

手順6 タム1&2を取り付ける

1. タム1&2(⑥)を用意し、キーボルト(図▲)をチューニングキーでしっかり締めます。

NOTE キーボルト(図▲)は左右2箇所あります。

2. キーボルト(図★)をゆるめます。

NOTE キーボルト(図★)は左右2箇所あります。

3. タム1&2(⑥)の穴の上端と、縦パイプの上端が合うようにタム1&2をさし込みます。さし込む向きは図を参考にしてください。

NOTE タム1&2の上下や表裏の向きを間違えないようにさし込んでください。

4. キーボルト(図★)を締めてタム1&2(⑥)を固定します。

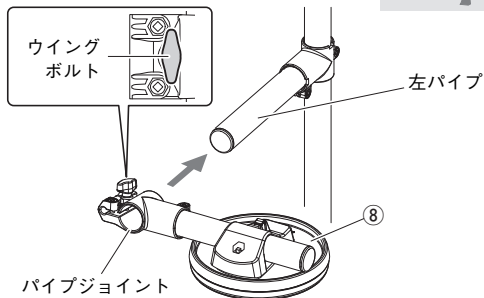
NOTE タムパッドの向きは、**手順12** で調節します。

手順7 は、DTX400K/DTX430K/DTX450Kで取り付け内容が異なります。

↓ **DTX400Kをお買い求めのお客様**

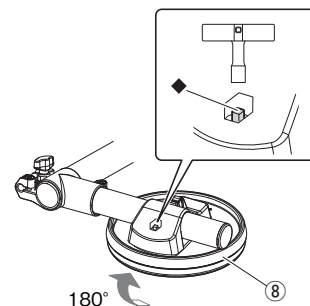
手順7 スネアパッドを取り付ける

1. スネアパッド(⑧)を用意し、ウイングボルトをゆるめます。

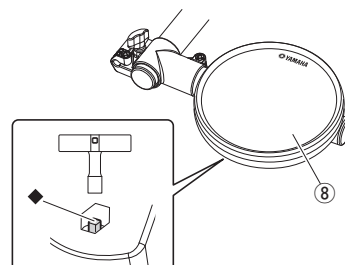


2. **手順4** で組み立てた左パイプにスネアパッド(⑧)をさし込みます。さし込む深さは、パイプジョイントが左パイプの先端部と一致する程度です。
3. ウイングボルトを締めて固定します。

4. スネアパッド(⑧)の裏側にあるキーボルト(図◆)をゆるめ、スネアパッド(⑧)を180度回転させます。



5. キーボルト(図◆)を締めてスネアパッド(⑧)を固定します。

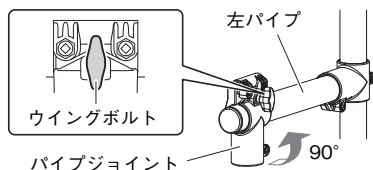


手順7 は、DTX400K/DTX430K/DTX450Kで取り付け内容が異なります。

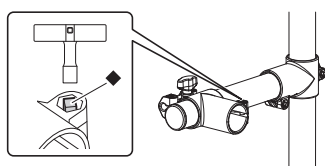
DTX430Kをお買い求めのお客様

手順7 スネアパッドを取り付ける

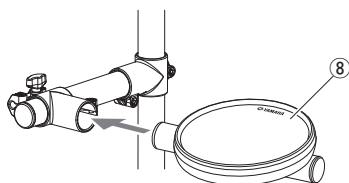
1. **手順4** で取り付けした左パイプのパイプジョイントにあるウイングボルトをゆるめます。



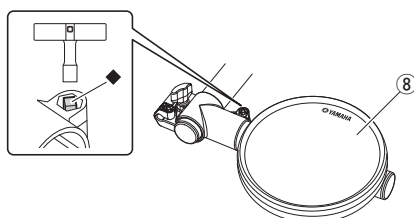
2. パイプジョイントを反時計方向に90度回転させ、ジョイント部が床と平行になるように合わせます。
3. ウイングボルトを締めて固定します。
4. パイプジョイントのキーボルト(図◆)をゆるめます。



5. スネアパッド(8)を用意し、パイプジョイントの根元までさし込みます。



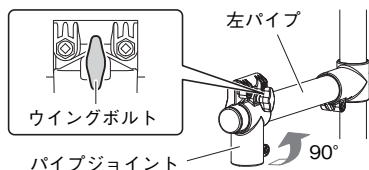
6. キーボルト(図◆)を締めてスネアパッド(8)を固定します。



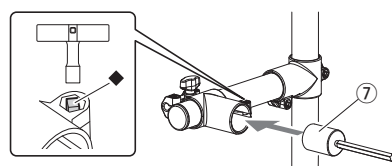
DTX450Kをお買い求めのお客様

手順7 スネアパッドを取り付ける

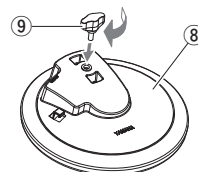
1. **手順4** で取り付けした左パイプのパイプジョイントにあるウイングボルトをゆるめます。



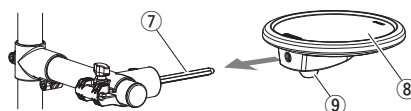
2. パイプジョイントを反時計方向に90度回転させ、ジョイント部が床と平行になるように合わせます。
3. ウイングボルトを締めて固定します。
4. パイプジョイントのキーボルト(図◆)をゆるめます。



5. 六角ロッド(7)を用意し、パイプジョイントの根元までさし込みます。
6. キーボルト(図◆)を締めて六角ロッド(7)を固定します。
7. スネアパッド(8)とウイングボルトS(9)を用意し、ウイングボルトS(9)を軽く締めておきます。(5～6回転程度)



8. 6.で取り付けした六角ロッド(7)に、スネアパッド(8)を根元までさし込み、ウイングボルトS(9)を締めてスネアパッド(8)を固定します。



9. スネアパッドの角度はキーボルト(図◆)をゆるめて調節できます。調節が終わったらキーボルト(図◆)を再び締めてスネアパッドを固定してください。

手順8 は、DTX400K/DTX430K/DTX450Kで取り付け内容が異なります。

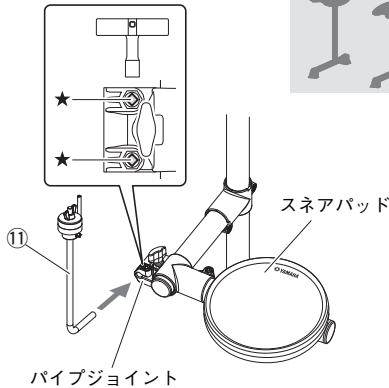


DTX400K/DTX430Kをお買い求めのお客様



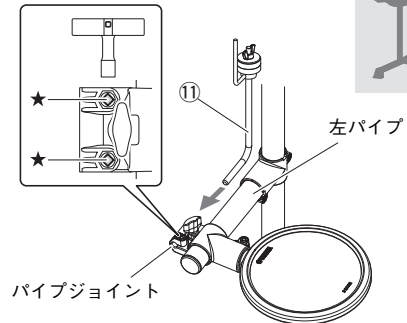
DTX450Kをお買い求めのお客様

手順8 ハイハットホルダーを取り付ける



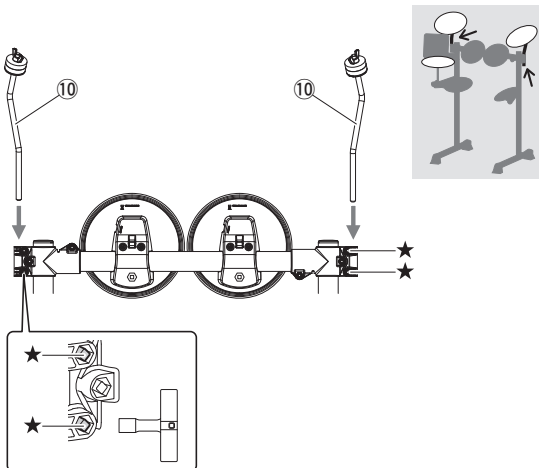
1. **手順7** で取り付けしたスネアパッドのパイプジョイントにあるキーボルト(図★)2箇所をゆるめます。
2. ハイハットホルダー (11)を用意し、図のようにパイプジョイントの手前から奥へさし込み、ハイハットホルダーの角度を調節します。
 - ・さし込む深さは、ハイハットホルダー (11)の先端部が奥にほんの少し見える程度です。
 - ・さし込む角度は、ハイハットホルダー (11)の上下方向の金属部が図のように床に対して垂直になるように調節します。
3. キーボルト(図★)2箇所を締めてハイハットホルダー (11)を固定します。

手順8 ハイハットホルダーを取り付ける



1. **手順4** で取り付けした左パイプのパイプジョイントにあるキーボルト(図★)2箇所をゆるめます。
2. ハイハットホルダー (11)を用意し、図のようにパイプジョイントの奥から手前へさし込み、ハイハットホルダーの角度を調節します。
 - ・さし込む深さは、ハイハットホルダー (11)の先端部が手前にほんの少し見える程度です。
 - ・さし込む角度は、ハイハットホルダー (11)の上下方向の金属部が図のように床に対して垂直になるように調節します。
3. キーボルト(図★)2箇所を締めてハイハットホルダー (11)を固定します。

手順9 シンバルホルダーを取り付ける



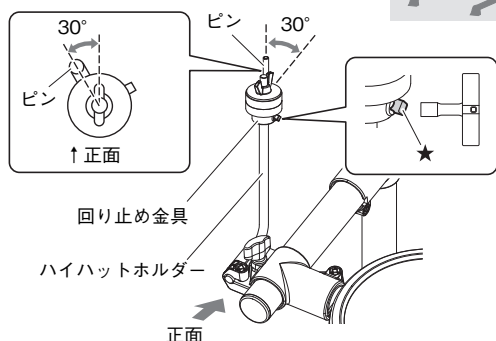
1. **手順6** で取り付けしたタム1&2のパイプの端にあるキーボルト(図★)4箇所をゆるめます。
2. シンバルホルダー (10)を用意し、左右2箇所、図のようにさし込み、角度を調節します。

NOTE シンバルホルダー 2本は同じ部品です。

 - ・さし込む深さは、シンバルホルダー (10)の下先端部がほんの少し見える程度です。
 - ・シンバルホルダー (10)を取り付ける角度は、図を参考にしてください。
3. キーボルト(図★)4箇所を締めてシンバルホルダー (10)を固定します。

手順10 ハイハットを取り付ける

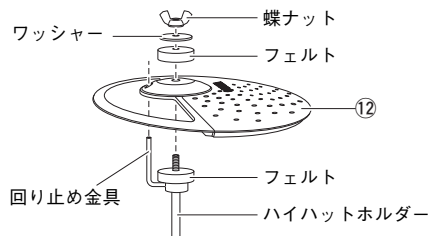
- ハイハットの回り止め金具の向きを調節する



図のハイハットホルダーをさし込む向きはDTX450Kの場合です。DTX400K/DTX430Kはハイハットホルダーを手前からさし込んでいます。

1. ハイハットホルダーの上端部にある回り止め金具のキーボルト(図★)を、チューニングキーを使ってゆるめます。
2. 図のように、ピンが正面から見て左30度くらいにいくように向きを調節します。
3. キーボルト(図★)を締めて回り止め金具を固定します。

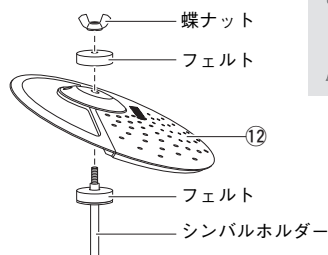
- ハイハットパッドを取り付ける



ハイハットパッドは、⑫のパッドから1枚使います。同梱された3枚のパッド(⑫)はすべて同じ部品です。

1. ハイハットホルダーから、蝶ナットとワッシャー、上のフェルト1個を外します。(下のフェルトはハイハットホルダーから外しません)
2. ハイハットパッド(⑫)を1枚用意し、ハイハットパッドの2箇所の穴にハイハットホルダーと回り止め金具を両方通します。
3. 1.で外したフェルトをハイハットパッド(⑫)の上に取り付けます。
4. 1.で外したワッシャーをフェルトの上に取り付けます。
5. 蝶ナットを締めてハイハットパッド(⑫)を固定します。ハイハットパッド(⑫)はしっかりと蝶ナットを締めて固定してください。

手順11 シンバルパッドを取り付ける

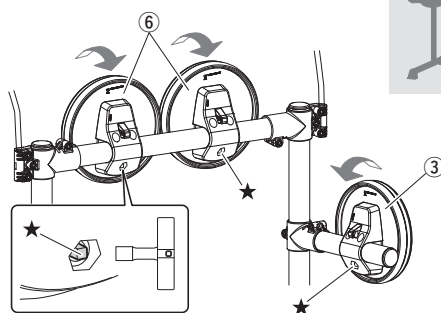


手順11 で、残り2枚のシンバルパッド(⑫)を取り付けます。1.～4.の手順を2回繰り返してください。

NOTE シンバルパッド(⑫)2枚は同じ部品です。

1. シンバルホルダーから、蝶ナットと上側のフェルト1個を外します。(下側のフェルトはシンバルホルダーから外しません)
2. シンバルパッド(⑫)の穴にシンバルホルダーを通します。
3. 1.で外したフェルトをシンバルパッド(⑫)の上に取り付けます。
4. 蝶ナットを締めてシンバルパッド(⑫)を固定します。

手順12 タムパッドの角度を調節する



手順12 は、3枚のタムパッドに共通の説明です。

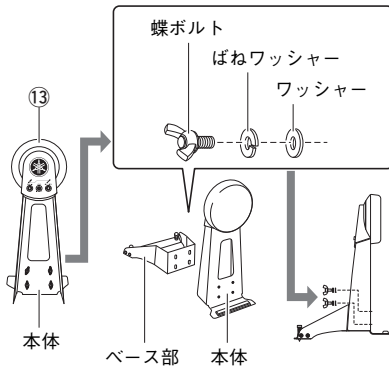
1.～3.の手順を3回繰り返してください。

1. 各タムパッド(③, ⑥)のキーボルト(図★)をゆるめます。
2. タムパッドを回転させ、叩きやすい角度に調節します。(11ページの組み立てイメージを参考にしてください)
3. キーボルト(図★)を締めてタムパッドを固定します。

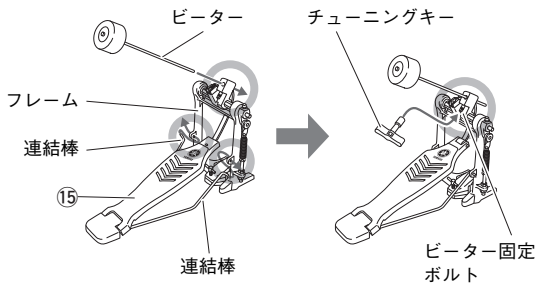
手順13 は、DTX430K/DTX450Kのみの作業です。DTX400Kは **手順14** へお進みください。

手順13 キックを組み立てる

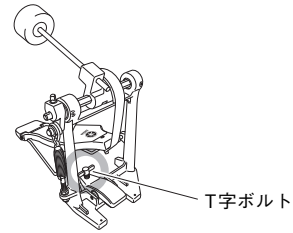
1. キックパッド(13)を用意し、本体から蝶ボルト、ばねワッシャー、ワッシャーをいったん外し、4組それぞれ外したままの状態近く置きします。
2. 図のようにベース部を本体に組み付け、1.で外した蝶ボルト、ばねワッシャー、ワッシャーをベース部側から取り付けて固定します。



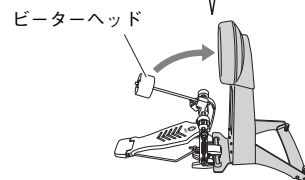
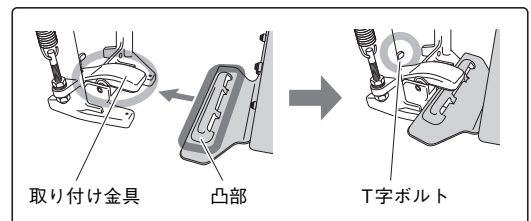
3. フットペダル(15)を用意し、フレームの穴に下図のように差し込みます。
4. ビーターの先端が後ろから15mm程度出る位置まで差し込み、チューニングキーでビーター固定ボルトを締めます。



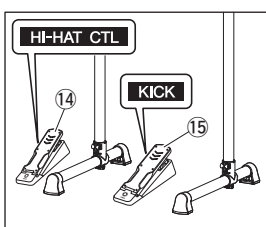
5. フットペダルのT字ボルトを左に回してゆるめます。



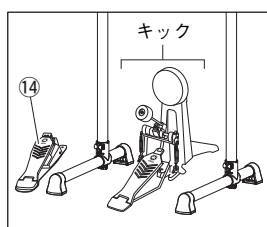
6. フットペダルの取り付け金具にキックパッド前面下の凸部をはさみます。
7. T字ボルトを右に回して固定します。
8. ペダルを踏んでビーターヘッドがキックパッドの円のほぼ中心に当たるかどうか確認します。必要があればビーターの長さや左右の位置を調節します。



手順14 ハイハットコントローラーとキックを配置する



DTX400K



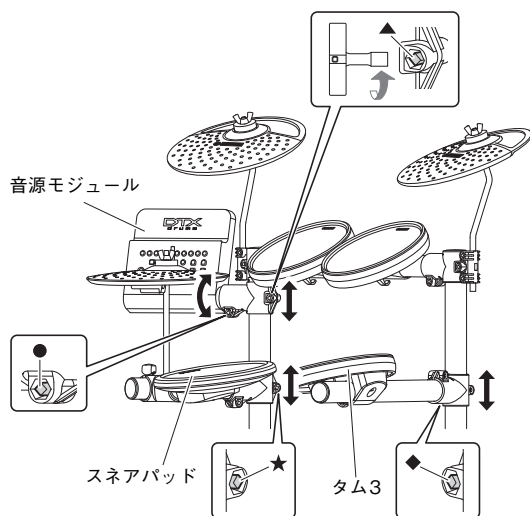
DTX430K/DTX450K

左の図を参考に、ハイハットコントローラー(14)とキックを配置します。

【重要】

DTX400Kはハイハットコントローラー(14)とキック(15)が似ています。ペダルの側面に貼られているシールをご覧のうえ、間違えないように配置してください。

手順 15 パッドと音源モジュールの位置を微調節する



椅子に座ってみて、パッドや音源モジュールをお好みの位置に調節します。

- スネアパッドの高さは「図★」のキーボルトをゆるめて調節します。
- タム3パッドの高さは「図◆」のキーボルトをゆるめて調節します。
- 音源モジュールの高さは「図▲」のキーボルトをゆるめて調節します。
- 音源モジュールの前後の角度は「図●」のキーボルトをゆるめて調節します。

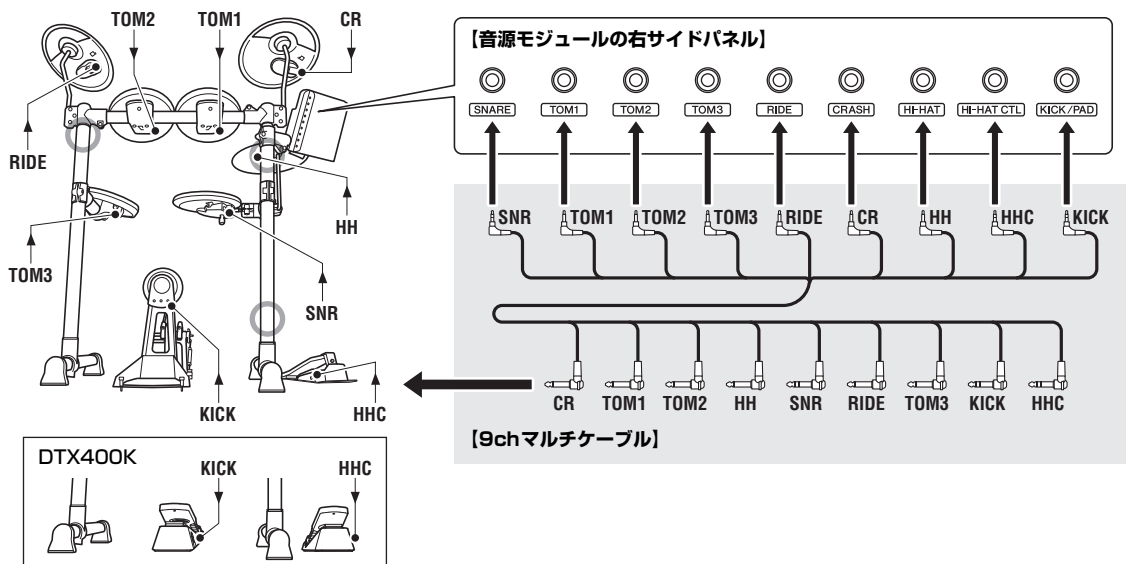
⚠ 注意

- ゆるめたキーボルトは必ずしっかりと締めなおしてください。
- すべてのキーボルトにゆるみがないか、再度確認してください。

NOTE

- スネアパッドの角度を再び調節したいときは、**手順7**を参考にしてください。
- タムパッドの角度を再び調節したいときは、**手順12**を参考にしてください。

手順 16 パッドと音源モジュールを接続する



1. 音源モジュールの右サイドパネルにあるトリガー入力端子 (SNARE～KICK/PAD) に、9ch マルチケーブル (16) のミニプラグ (細いほう) をさし込みます。

NOTE 各プラグのシールに印字されているパッド名の記号に合わせて9ch マルチケーブルを接続します。

2. 9ch マルチケーブルの標準プラグ (太いほう) を各パッドの端子にさし込みます。

3. スネアパッド、タムパッド、シンバル/ハイハットパッドは、ケーブルが抜け落ちないようにコードフックに巻きつけて固定します。


注 記 コードフックに巻きつける際、ケーブルを極端に折り曲げないでください。ケーブルの断線の原因となります。

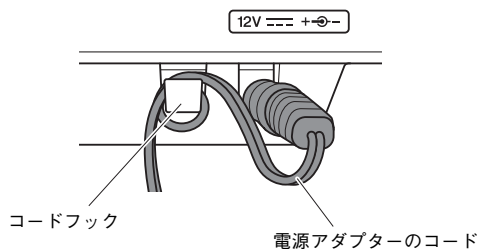
4. ケーブルバンド (18) を使い、上図の ○ 位置を参考にケーブルをラックに沿わせて固定します。

以上で組み立ては完了です！

音を出すまでの準備

電源を準備する

1. 本体の電源が切れている(ランプがすべて消えている)ことを確認してください。
2. 電源アダプターのDCプラグを左サイドパネルの [12V ] 端子にさし込みます。
3. 電源アダプターのコードをコードフックに巻きつけて固定します。



⚠ 注意

コードフックに巻きつけるとき、電源アダプターのコードを極端に折り曲げないでください。コードの断線や発火の原因となります。

4. 電源アダプターのACプラグを家庭用(AC100V)コンセントにさし込みます。

⚠ 警告

電源アダプターは必ず付属のものをお使いください。

⚠ 注意

誤ってエアコン用などの200Vのコンセントに接続しないでください。

ヘッドフォンやスピーカーをつなぐ

本体にはスピーカーが内蔵されていません。音を出すためには、ヘッドフォンやモニタースピーカーを [PHONES/OUTPUT] 端子(標準ステレオフォンジャック)に接続してください。音量はフロントパネルの [VOLUME] ボタンで調節します。

NOTE

[PHONES/OUTPUT] 端子はステレオジャックです。モノラルフォン(φ6.3)ケーブルをお使いの場合は、メニューモードの“ステレオ/モノラル”(53ページ)で出力をモノラルに切り替えてください。

⚠ 注意

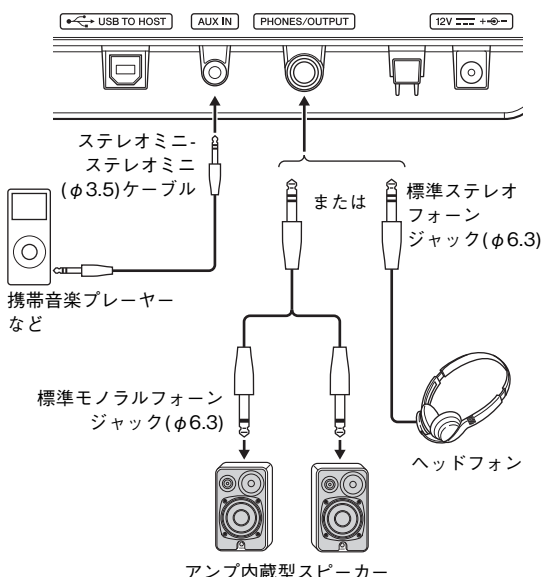
ヘッドフォンをご使用の場合は、大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

携帯用音楽プレーヤーなどをつなぐ

本体の [AUX IN] (外部入力) 端子(ステレオミニジャック)に携帯用音楽プレーヤーなどを接続することができます。好きな曲に合わせて演奏するときに便利です。

注 記

- 接続にはそれぞれの機器の端子形状に適合したプラグを持つケーブルをお使いください。
- 接続の前に、機器のボリュームが最小になっていることを確認してください。
- 本体との音量バランスは、接続した機器側の音量調節で行ってください。



電源を入れる

1. アンプ内蔵スピーカーなどの外部オーディオ機器を接続している場合は、外部オーディオ機器の音量がゼロになっていることを確認します。
2. [⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押します。
本体のランプが点灯し、電源が入ります。



NOTE 電源を入れる前にハイハットコントローラーを接続してください。また電源オン時は、ハイハットコントローラーを踏まないでください。ペダルの自動判別がうまく作動せずに、キックの音が出にくくなる場合があります。

電源を切る

1. 外部オーディオ機器を接続している場合は、外部オーディオ機器の音量がゼロになっていることを確認します。
2. [⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押します。
本体のランプが消灯し、電源が切れます。



注 記 電源オフ時に本体の設定は自動的に保存されます。本体のランプが完全に消えるまで電源アダプターを抜かないでください。

⚠ 注意

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

オートパワーオフ(自動電源オフ)

オートパワーオフとは、本体が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐことができます。

NOTE 電源オフ時に、本体の設定は自動的に保存されます。

● オートパワーオフの設定

電源が自動的に切れるまでの時間を変更できます。操作方法は、メニューモードの「オートパワーオフ時間」(53ページ)をご覧ください。

注 記 ・本体の状態によっては、一定時間操作せずにオートパワーオフの設定時間が経過しても電源が切れない場合があります。使用後は、手で本体の電源を切ってください。

・外部オーディオ機器を本体に接続した状態で、一定時間本体を操作しない場合は、外部オーディオ機器の音量をゼロにしておくことをお勧めします。本体の電源が自動的に切れないようにするには、オートパワーオフを解除してください。

NOTE ・オートパワーオフの設定時間はおよその目安です。
・初期の状態では、オートパワーオフは30分に設定されています。

● オートパワーオフの簡単解除

[TRAINING] ボタンを押しながら電源を入れると、オートパワーオフ機能が解除されます。この場合、解除の設定は自動的に保存されます。



本体の設定を初期の状態に戻す (ファクトリーセット)

本体には、はじめからさまざまなキット、ソングなどが設定されています。ファクトリーセットを実行すれば、これらを誤って書き換えてしまった場合でも、本体の設定を初期の状態に戻すことができます。

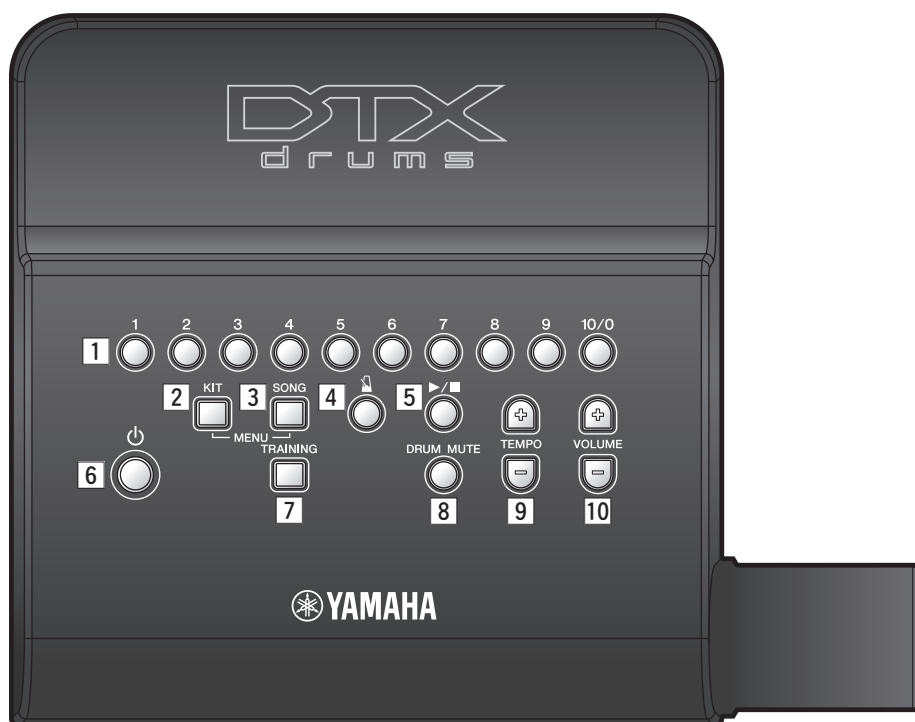
注 記 ファクトリーセットを実行すると、設定したすべての内容は消去されます。よく確認してから実行してください。

1. [⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して、電源を切ります。
2. [VOLUME +] ボタンと [VOLUME -] ボタンを押しながら電源を入れます。



本体のランプが点滅し、ファクトリーセットが実行されます。

各部の名称と機能



フロントパネル

① 数字キー

- キット、ソング、トレーニングを選びます。(23、25、29ページ)
- テンポの値を入力します。(28ページ)
- メニューモードで設定項目を選びます。(40ページ)
- メニューモードで設定値を入力します。(40ページ)

② [KIT] (キット) ボタン (23ページ)

キットを選ぶときに使います。

③ [SONG] (ソング) ボタン (25ページ)

ソングを選ぶときに使います。

④ [] (クリック) ボタン (27ページ)

- クリック(メトロノーム)のスタート/ストップを行ないます。
- トレーニングモードで練習のスタート/ストップを行ないます。

⑤ [▶/■] ボタン

- ソングの再生/停止を行ないます。(25ページ)
- トレーニングモードで練習のスタート/ストップを行ないます。(29ページ)

⑥ [] (スタンバイ/オン) スイッチ (20ページ)

本体のオフ/オンのスイッチです。

⑦ [TRAINING] (トレーニング) ボタン (29ページ)

トレーニングモードで練習するときに使います。

⑧ [DRUM MUTE] (ドラムミュート) ボタン (25ページ)

お手本のドラムパートを消音/消音解除するときに使います。

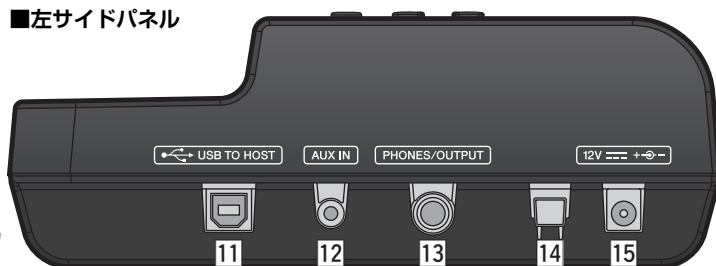
⑨ [TEMPO] (テンポ) ボタン (28ページ)

ソングやクリックのテンポの増減を行ないます。
[+]ボタンで1ずつ速くなり、[-]ボタンで1ずつ遅くなります。
※ メニューモードでは、設定値の増減に使います。

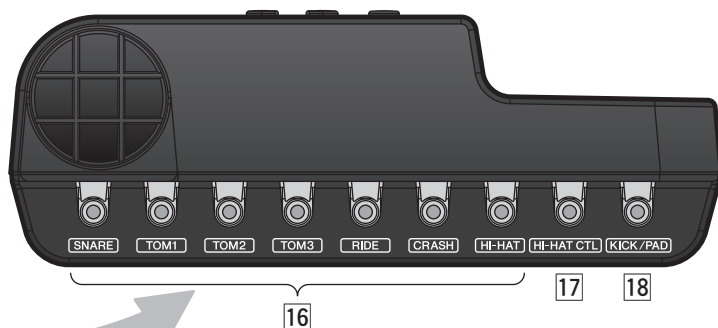
⑩ [VOLUME] (ボリューム) ボタン (19ページ)

本体音量を調節します。[+]ボタンを押すたびに大きくなり、[-]ボタンを押すたびに小さくなります。

■左サイドパネル



■右サイドパネル



フロントパネル



左サイドパネル

11 [USB TO HOST] 端子 (57ページ)

本体とコンピュータのUSB端子とをUSBケーブルで接続するために使います。

12 [AUX IN] (外部入力) 端子 (19ページ)

本体へ外部オーディオ機器からの音声を入力する端子 (ステレオミニジャック) です。携帯用音楽プレーヤーやCDプレーヤーを接続すれば、プレーヤーの音楽に合わせて演奏できます。

13 [PHONES/OUTPUT] 端子 (19ページ)

ヘッドフォンおよび、外部アンプやミキサーなどと接続します。ステレオ標準ジャックです。

14 コードフック (19ページ)

電源アダプターのコードが抜けないように、このフックでプラグ付近のコードを引っ掛けて固定します。

15 [12V 12V + -] 端子 (19ページ)

付属の電源アダプターを接続します。

右サイドパネル

16 トリガー入力端子 (18ページ)

スネアパッド、タムパッド、シンバルパッドを接続する端子です。

17 HI-HAT CTL (ハイハットコントロール) 端子 (18ページ)

ハイハットコントローラーを接続する端子です。

18 KICK/PAD 端子 (18ページ)

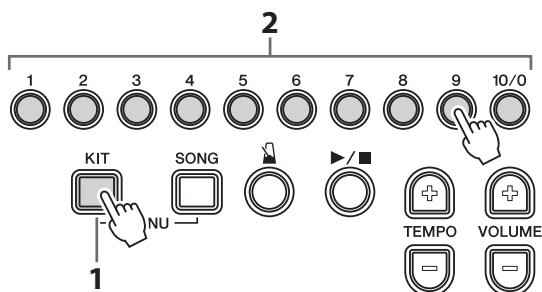
キックパッドを接続する端子です。
KP65をお使いの場合は、パッドを追加できます。

キットを選んで演奏する

各パッドにさまざまな打楽器の音色が配置されたものをひとまとめにして「キット」と呼びます。本体には10種類のドラムやパーカッションのキットが内蔵されています。

キットを選ぶ

1. [KIT] ボタンを押して、キットモードに入ります。
2. 数字キー ([1]～[10/0])を押して、お好みのキットを選びます。



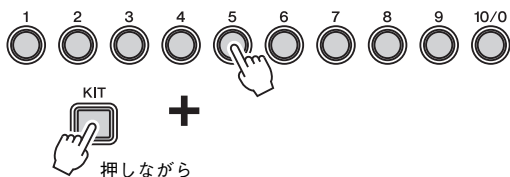
3. パッドを叩いて演奏してみましょう。

NOTE 10種類のキットの詳細内容は、データリスト (60ページ) をご覧ください。

ソングモードやトレーニングモードでキットを簡単に切り替える方法

ソングモードやトレーニングモードでも、キットを切り替えられます。

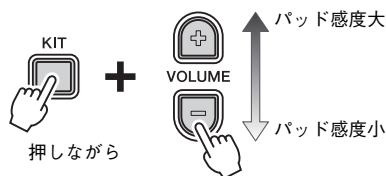
[KIT] ボタンを押しながら数字キー ([1]～[10/0])を押します。



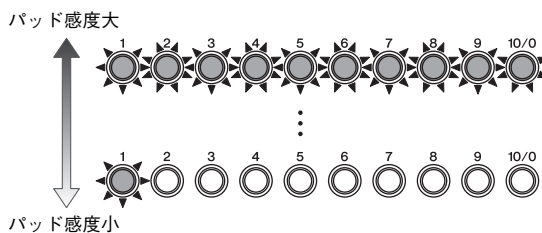
キットの感度を調節する

ドラムパッドを叩く強さに対する鳴る音の音量を10段階で調節できます。お好みの感度に調節しましょう。

[KIT] ボタンを押しながら [VOLUME +] ボタンまたは [VOLUME -] ボタンを押します。



- [VOLUME +] ボタンを押すごとに、パッドの感度は上がります。したがって、弱く叩いても大きな音が出やすくなります。
- [VOLUME -] ボタンを押すごとに、パッドの感度は下がります。したがって、強く叩かないと大きな音が出にくくなります。

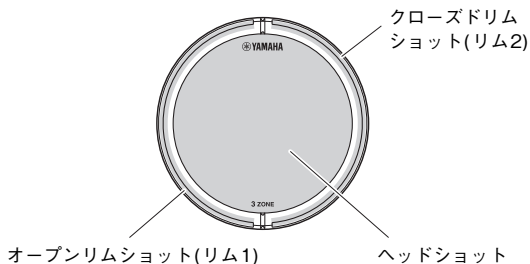


- NOTE**
- ここで設定される感度は、10種類のキットに個別です。
 - 各パッドの感度を個別に設定したいときは、メニューモードの“トリガー設定” (46ページ) をご覧ください。

奏法について

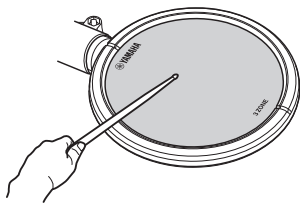
スネアパッド

TP70Sをお使いの場合は、アコースティックのスネアドラムと同じように3種類(ヘッド、オープンリム、クローズドリム)の叩き方ができます。



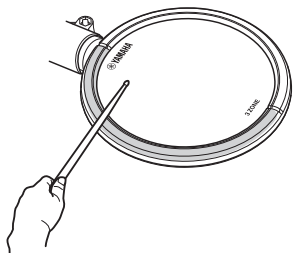
● ヘッドショット

ヘッドを叩きます。



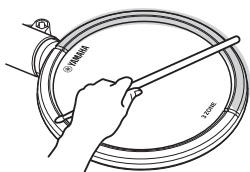
● オープンリムショット

オープン側のリムを叩きます。



● クローズドリムショット(クロススティック)

クローズド側のリムを叩きます。



ハイハットシンバル

● オープン/クローズ

- ハイハットコントローラーのペダルを踏まない状態でハイハットパッドを叩くと、ハイハットオープンの音が出ます。
- ハイハットコントローラーのペダルを踏んだ状態でハイハットパッドを叩くと、ハイハットクローズの音が出ます。
- HH65をお使いの場合は、ペダルの踏み具合によってオープンからクローズまで音色が変化します。

● フットクローズ

ハイハットパッドを叩かずにハイハットコントローラーを踏み込むと、フットクローズの音が出ます。

● ハイハットスブラッシュ

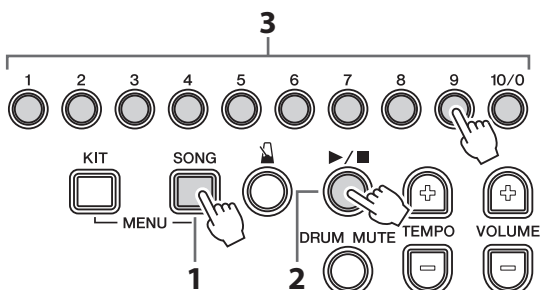
ハイハットコントローラーのペダルを瞬間的に踏んですぐ放すと、ハイハットスブラッシュの音が出ます。

ソングに合わせて演奏する

本体には10種類のソング(練習曲)が内蔵されています。さまざまな音楽ジャンルのソングに合わせてながら、ドラムを楽しく練習しましょう。

ソングを選ぶ

1. [SONG] ボタンを押します。
2. [▶/■] ボタンを押してソングを再生します。
3. ソングを聞きながら、数字キー ([1]～[10/0]) を押して、好みのソングを選びます。



- 再生中の曲を止めたいときは、もう一度 [▶/■] ボタンを押します。
- ドラムパートをミュート(消音)して、ドラムパート以外の伴奏パートだけを再生させたいときは、[DRUM MUTE] ボタンを押します。ミュートを解除させたいときは、もう一度 [DRUM MUTE] ボタンを押します。
- 各ソングには、最適なキットがあらかじめ割り当てられており、ソングを選ぶことでキットが自動的に呼び出されます。好みのキットでソングを演奏したいときは、ソングを選んだあとにキットを選んでください。操作方法は、ソングモードやトレーニングモードでキットを簡単に切り替える方法(23ページ)をご覧ください。

NOTE 10種類のソングの詳しい内容は、データリスト(60ページ)をご覧ください。

キットモードやトレーニングモードでソングを簡単に切り替える方法

キットモードやトレーニングモードでもソングを切り替えられます。

キットモードやトレーニングモードのとき、[SONG] ボタンを押しながら数字キー ([1]～[10/0]) を押します。



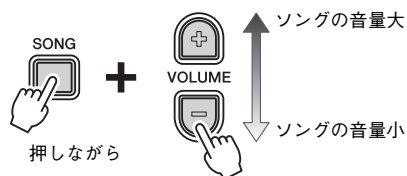
ソングの音量を調節する

ソングの音量を、お好みの状態に調節できます。

1. [▶/■] ボタンを押して、ソングを再生させます。



2. [SONG] ボタンを押しながら [VOLUME+] ボタンまたは [VOLUME-] ボタンを押します。

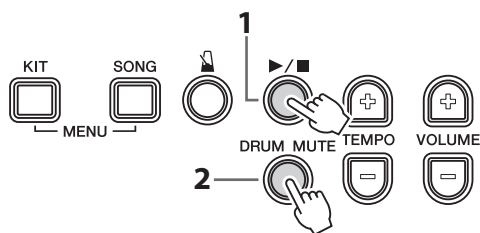


- [VOLUME+] ボタンを押すごとに、ソングの音量は上がります。
- [VOLUME-] ボタンを押すごとに、ソングの音量は下がります。

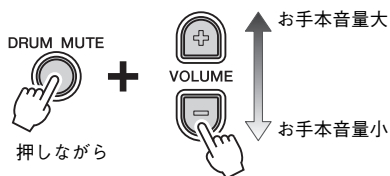
ミュートされたドラムパートの音量を調節する

ソングの再生中に[DRUM MUTE]ボタンを押すと、お手本のドラム音量はミュート(消音)されます。ミュートされたお手本のドラムの音量は調節ができるので、お手本の演奏をかすかに鳴らしながら練習できます。

1. [▶/■]ボタンを押して、ソングを再生させます。
2. [DRUM MUTE]ボタンを押して、ドラムパートをミュートします。



3. [DRUM MUTE]ボタンを押しながら[VOLUME+]ボタンまたは[VOLUME-]ボタンを押します。



- [VOLUME+]ボタンを押すごとに、ミュートされたドラム音量は上がります。
- [VOLUME-]ボタンを押すごとに、ミュートされたドラム音量は下がります。

もう一度[DRUM MUTE]ボタンを押すとミュートは解除され、ドラムパートは通常の音量に戻ります。

ソングの一部をリピート再生する

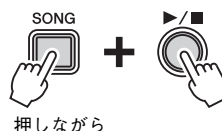
ソングの再生中に「A(リピートの始まり)」、「B(リピートの終わり)」を小節単位で設定することで、その間の演奏をくり返し再生できます。



1. [▶/■]ボタンを押して、ソングを再生させます。



2. A点にしたいポイントに来たら、[SONG]ボタンを押しながら[▶/■]ボタンを押します。



3. B点にしたいポイントが来たら、もう一度[SONG]ボタンを押しながら[▶/■]ボタンを押します。

リピート再生を解除したいときは、もう一度[SONG]ボタンを押しながら[▶/■]ボタンを押します。

- NOTE**
- ソング番号を変えると、リピート再生はキャンセルされ、A点/B点の設定も解除されます。
 - ソングは、曲に合わせたカウントが入ったあと、A点からB点までが繰り返し再生されます。

クリック(メトロノーム)を使う

クリック(メトロノーム)を鳴らしながらパッドを叩くことにより、リズムを正確に叩けるように練習ができます。

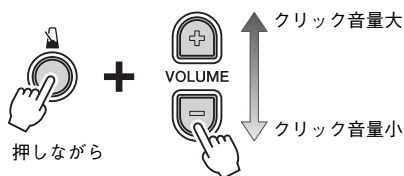
クリックを鳴らす/止める



- クリックを鳴らすには、[] ボタンを押します。
- クリックを止めるには、もう一度[] ボタンを押します。

クリックの音量を調節する

[] ボタンを押しながら [VOLUME +] ボタンまたは [VOLUME -] ボタンを押します。



- [VOLUME +] ボタンを押すごとに、クリックの音量は上がります。
- [VOLUME -] ボタンを押すごとに、クリックの音量は下がります。

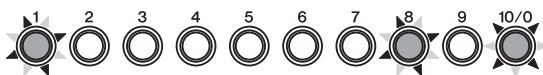
テンポの値を数字キーで確認する

本体に設定されているテンポの値を数字キーの点滅で確認できます。

[TEMPO +] または [TEMPO -] ボタンのいずれかを 1 回だけ押します。



数字キーの数字が順に点滅し、テンポを表示します。



例：テンポ108のときは、数字キーが[1]→[0]→[8]の順に点滅します。

テンポの値を音声ガイドで確認する

本体に設定されているテンポの値を音声ガイドで確認できます。

[] ボタンを押し続けると、現在のテンポ値が英語の音声ガイドで流れ、数字キーの点滅で表示されます。



テンポを調節する

クリックのテンポを変更するには、3つの方法があります。

- [TEMPO+] ボタンや [TEMPO-] ボタンでテンポを増減させる
- 数字キーでテンポの値を入力する
- パッドを叩いてテンポを決める(タップテンポ)

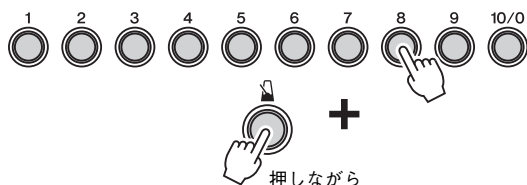
- NOTE**
- ・設定できるテンポの値は30～300です。
 - ・ここでテンポを設定した後にソングを選びなおす(25ページ)と、クリックを鳴らすテンポはソングのテンポになります。

■ [TEMPO+] ボタンや [TEMPO-] ボタンでテンポを増減させる



- ・テンポを1ずつ上げるには、[TEMPO+] ボタンを押します。
- ・テンポを1ずつ下げるには、[TEMPO-] ボタンを押します。

■ 数字キーでテンポの値を入力する



1. [TEMPO+] ボタンを押しながら、数字キーでテンポを入力します。

例：テンポ138を入力したいとき
数字キーは[1]→[3]→[8]と入力します。

2. 数字キーの入力が終わったら [TEMPO+] ボタンから指を離します。
入力されたテンポの値が英語の音声ガイドで流れます。

- NOTE**
- ・数字キーの[10/0]は、0を入力するときに使います。10の入力には使いません。

例：テンポ110を入力したいとき
数字キーは[1]→[1]→[10/0]と入力します。
[1]→[10/0]とは入力しません。

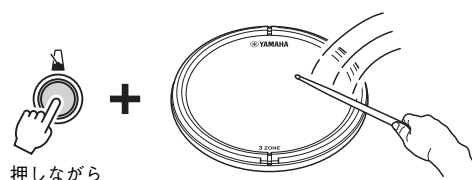
- ・2桁のテンポを入力するときは、先頭に0をつけた3桁の入力には必要ありません。

例：テンポ72を入力したいとき
数字キーは[7]→[2]と入力します。
[0]→[7]→[2]と入力する必要はありません。

- ・音声ガイドが流れている間は、[TEMPO+] ボタンを押さず、数字キーだけでテンポを入力し直せます。

■ パッドを叩いてテンポを決める(タップテンポ)

1. [TEMPO+] ボタンを押しながら、お好みのテンポでパッドを3回以上叩きます。



2. [TEMPO+] ボタンから指を離します。

- NOTE**
- パッドを叩く代わりに、[TEMPO+] ボタンまたは[TEMPO-] ボタンを3回以上押してもテンポを設定できます。

その他の設定をする

以下の項目は、メニューモードで設定できます。詳しくはメニューモードの“クリック設定”(41ページ)をご覧ください。

- ・クリックのパターンをテンプレートから選ぶ
- ・クリックの拍子を設定する
- ・クリックの音色を設定する
- ・クリック再生時の数字キーの光り方を設定する

トレーニングモードで練習する

トレーニングとは、さまざまな目的に応じてドラムを楽しく練習できる機能です。リズム感を鍛えるトレーニングや、初心者でも簡単にドラムパターンを楽しむトレーニング、さまざまな音楽ジャンルのドラムパターンを覚えるトレーニングなど、10種類のトレーニングがあります。

トレーニングモード

リズム感を鍛える

- 1. グループチェック 30ページ
- 2. リズムゲート 31ページ
- 3. メジャーブレイク 32ページ
- 4. テンポアップ/ダウン 33ページ
- 5. チェンジアップ 34ページ

ドラムパターンを楽しむ

- 6. イージーセッション 35ページ
- 7. グループトラッカー 36ページ

ドラムパターンを覚える

- 8. パッドゲート 37ページ
- 9. パートミュート 38ページ

ドラムの派手さを競う

- 10. ファストブラスト 39ページ

トレーニングモードの基本操作

ここでは全10種類のトレーニングに共通した基本的な操作方法を説明します。

1. [TRAINING] ボタンを押して、トレーニングモードに入ります。

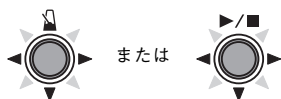
TRAINING



2. 数字キー ([1] ~ [10/O]) から、お好みのトレーニングボタンを押します。



[] ボタンまたは [▶/■] ボタンが点滅して、スタンバイ状態になります。



NOTE

- 点滅するボタンは、選んだトレーニングの番号によって異なります。
- トレーニングによっては、[] ボタンと [▶/■] ボタンが同時に点滅する場合もあります。

3. 点滅している [] ボタンまたは [▶/■] ボタンを押してトレーニングを開始します。



4. トレーニングを終了したいときは、3. で押したボタンをもう一度押します。

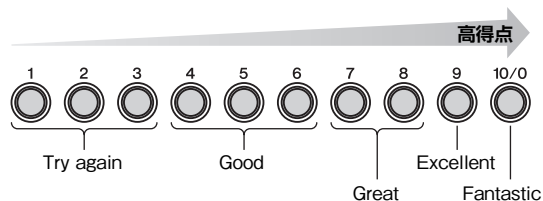
- トレーニング中にキットを変えたいときは、[KIT] ボタンを押しながら数字キー ([1] ~ [10/O]) を押します。(ソングモードやトレーニングモードでキットを簡単に切り替える方法、23ページ)
- トレーニング中にソングを変えたいときは、[SONG] ボタンを押しながら数字キー ([1] ~ [10/O]) を押します。(キットモードやトレーニングモードでソングを簡単に切り替える方法、25ページ)

NOTE

- トレーニングする時間(長さ)を設定したいときは、メニューモードの“タイマー”の設定(49ページ)を参照してください。
- ファストブラストをトレーニングする時間(長さ)を変えたいときは、メニューモードの“ファストブラストのタイマー”の設定(52ページ)を参照してください。

■ 採点機能について

採点機能のあるトレーニングでは、トレーニングの採点結果が数字キー ([1] ~ [10/O]) の点灯によって10段階で表示されます。[10/O] が最高得点で、[1] が最低得点です。また、採点結果は音声ガイドで5段階評価されます。

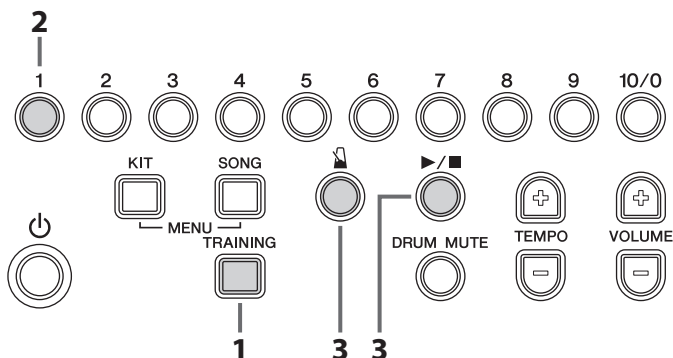


NOTE

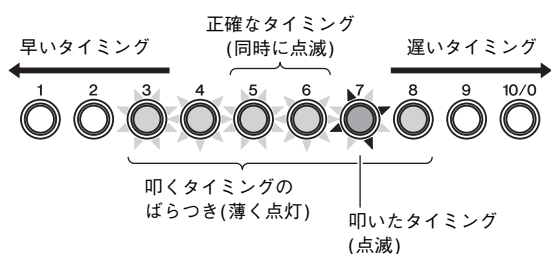
ファストブラストのみ、採点方法が異なります。詳しくは39ページをごらんください。

TRAINING → 1 グループチェック

叩くタイミングのズレを数字キーの点灯で確認しながら、正確なタイミングでパッドを叩きます。
このトレーニングは、クリックに合わせながらトレーニングする方法と、ソングに合わせながらトレーニングする方法があります。また、トレーニング後に採点結果が数字キー ([1]～[10/0]) の点灯表示と音声ガイドで確認できます。



1. [TRAINING] ボタンを押して、トレーニングモードに入ります。
2. 数字キーの[1]を押します。
[] ボタンと[▶/■] ボタンが点滅して、スタンバイ状態になります。
3. [] ボタンまたは[▶/■] ボタンを押して、トレーニングを開始します。
[] ボタンを押した場合は、クリックに合わせてながらトレーニングします。[▶/■] ボタンを押した場合は、ソングに合わせてながらトレーニングします。
4. クリックまたはソングに合わせて正確なタイミングでパッドを叩きます。



●叩いたタイミングを確認する

- 叩いたタイミングは数字キー ([1]～[10/0]) が点滅して確認できます。
- [5] と [6] が同時に点滅しているときは、正確なタイミングで叩いています。
- [6] → [7] → [8] → [9] → [10/0] と点滅する数字が大きくなるにつれ、遅いタイミングで叩いています。
- [5] → [4] → [3] → [2] → [1] と点滅する数字が小さくなるにつれ、早いタイミングで叩いています。

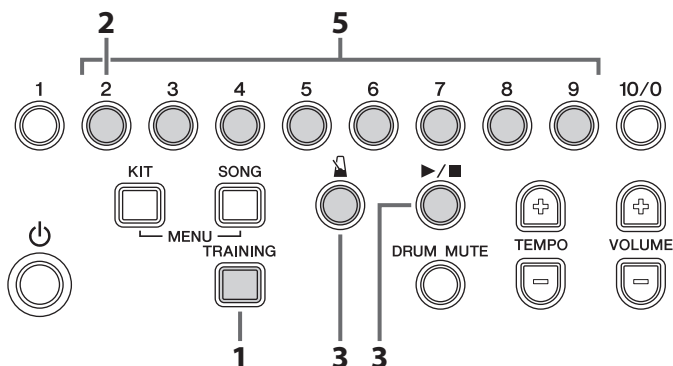
●叩くタイミングのばらつきを確認する

- 叩くタイミングのばらつきは、数字キー ([1]～[10/0]) の薄い点灯により確認できます。
- 薄く点灯している幅が広いほど、演奏にばらつきが大きいことを示します。

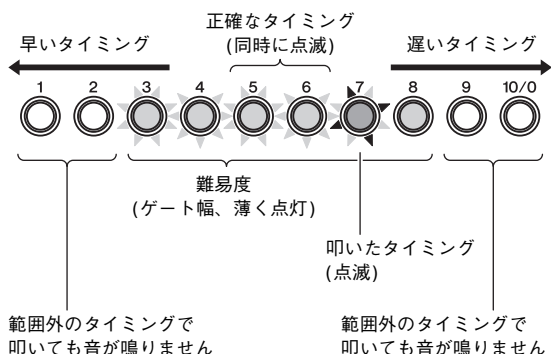
5. トレーニングを終了するには、3. で押したボタンをもう一度押します。
採点結果が数字キー ([1]～[10/0]) の点灯表示と英語の音声ガイドで確認できます。採点結果の詳細は基本操作 (29 ページ) の「採点機能について」を参照してください。

TRAINING → リズムゲート

パッドを叩くタイミングにズレがないかを音で確認しながら、正確なタイミングでパッドを叩きます。正確なタイミングで叩かないと音が鳴りません。このトレーニングは、クリックに合わせながらトレーニングする方法と、ソングに合わせながらトレーニングする方法があります。また、トレーニング後に採点結果が数字キー ([1]～[10/0]) の点灯表示と音声ガイドで確認できます。



1. [TRAINING] ボタンを押して、トレーニングモードに入ります。
2. 数字キーの[2]を押します。
[] ボタンと[▶/■] ボタンが点滅して、スタンバイ状態になります。
3. [] ボタンまたは[▶/■] ボタンを押して、トレーニングを開始します。
[] ボタンを押した場合は、クリックに合わせながらトレーニングします。[▶/■] ボタンを押した場合は、ソングに合わせながらトレーニングします。
4. クリックまたはソングに合わせて正確なタイミングでパッドを叩きます。
叩いたタイミングの正確さにより、音が鳴ったり鳴らなかったりします。また、数字キーが下図のように光ります。



5. 数字キー([2]～[9])を押して、難易度(ゲート幅)を設定します。難易度は4段階です。難易度が高くなるにつれ、より正確に叩かなければ発音なくなります。

[2]または[9]を押す										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10/0	
○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	
[3]または[8]を押す										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10/0	
○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	
[4]または[7]を押す										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10/0	
○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	
[5]または[6]を押す										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10/0	
○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	

簡単

難易度

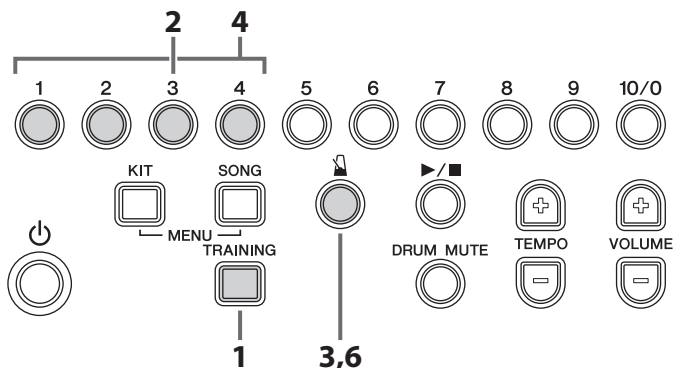
難しい

NOTE 数字キーの[1]と[10/0]は使いません。

6. トレーニングを終了するには、3.で押したボタンをもう一度押します。
採点結果が数字キー ([1]～[10/0]) に表示され、英語の音声ガイドが流れます。採点結果の詳細は基本操作(29ページ)の「採点機能について」を参照してください。

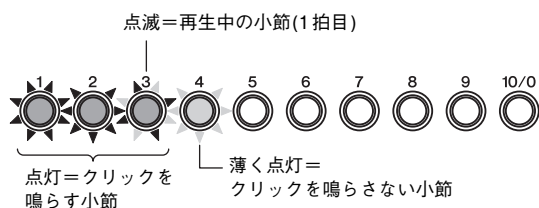
TRAINING → 3 メジャーブレイク

特定の小節だけクリック音をミュート(消音)してトレーニングします。たとえば、フィルインの小節だけクリックを鳴らさないよう設定すると、フィルインで叩くタイミングがずれたかを把握できるので、演奏全体を通して一定のテンポで叩けるようになります。なお、このトレーニングには採点機能はありません。



1. [TRAINING] ボタンを押して、トレーニングモードに入ります。
2. 数字キーの[3]を押します。
[] ボタンが点滅して、スタンバイ状態になります。
3. [] ボタンを押します。
クリックが4小節単位で再生されます。

4. 小節番号の数字キーを押して、クリックを鳴らす(点灯)/鳴らさない(薄く点灯)を交互に切り替えます。



- 数字キーの数字は小節番号を表わします。
- 各小節の1 拍目で数字キーが点滅します。

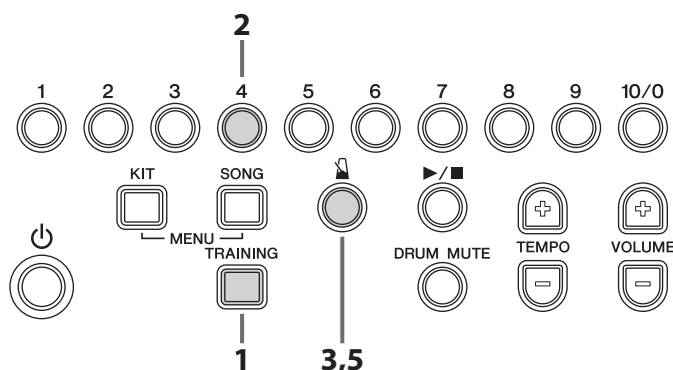
5. パッドを叩いてトレーニングします。
6. トレーニングを終了するには、[] ボタンを押します。

NOTE クリックを繰り返す小節数は変更できます。クリックが再生されているときに、数字キーの[2]～[10/0]を数字キーの点灯が変わるまで押し続けます。たとえば、8小節単位で繰り返したいときは、[8]を押し続けます。

TRAINING → 4 テンポアップ/ダウン

正確なタイミングでどこまで早く叩き続けられるかをトレーニングします。クリックが鳴る正確なタイミングでパッドを叩くとテンポが自動的に上がっていき、正確でなかった場合は自動的に下がっていきます。なお、このトレーニングには採点機能はありません。

トレーニングを始める前に、クリックのテンポを確認/調節したいときは、クリック(メトロノーム)を使う(27ページ)を参照してください。



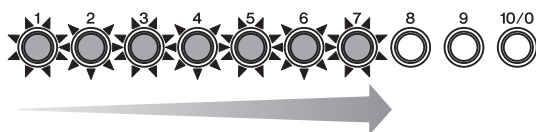
1. [TRAINING] ボタンを押して、トレーニングモードに入ります。

2. 数字キーの[4]を押します。
[] ボタンが点滅して、スタンバイ状態になります。

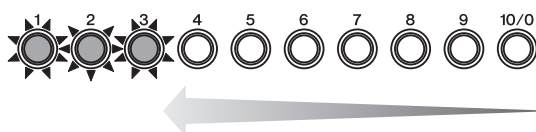
3. [] ボタンを押します。
クリックの再生が始まります。

4. クリックの鳴る正確なタイミングでパッドを叩きます。4小節の残り時間は、数字キーの薄い点灯で確認できます。
4小節ごとに正確なタイミングで叩けたか集計されます。

- 4小節の間、正確なタイミングで叩けた場合は、テンポが自動的に上がり、数字キーが左から右へ速く流れて光ります。



- 4小節の間、正確なタイミングで叩けなかった場合は、テンポが自動的に下がり、数字キーが右から左へ速く流れて光ります。



- 4小節ごとのテンポ変化を確認しながらトレーニングを続けましょう。

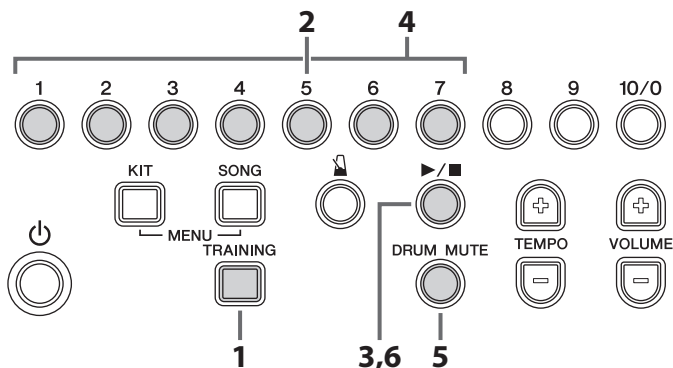
5. トレーニングを終了するには、[] ボタンを押します。

NOTE

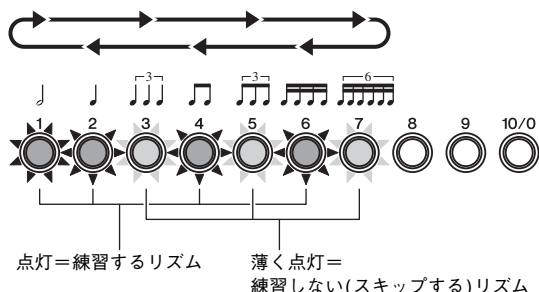
- トレーニングの難易度を調節したいときは、メニューモードの“難易度”の設定(50ページ)を参照してください。
- このトレーニングで、正確に叩けなかった場合にドラムの音を鳴らす/鳴らさない設定ができます。メニューモードの“タイミング外の発音”の設定(50ページ)を参照してください。

TRAINING → 5 チェンジアップ

7種類のリズムから、お好みの組み合わせを選び、2小節単位で正確に叩くトレーニングです。数字キーの[1]～[7]にはリズムが割り当てられています。また、トレーニング後に採点結果が数字キー ([1]～[10/0])の点灯表示と音声ガイドで確認できます。



1. [TRAINING] ボタンを押して、トレーニングモードに入ります。
2. 数字キーの[5]を押します。
[▶/■] ボタンが点滅して、スタンバイ状態になります。
3. [▶/■] ボタンを押して、トレーニングを開始します。
・お手本のリズムとクリックが再生され、お手本のリズムが2小節ごとに変わります。
4. 数字キーの[1]～[7]を押して、練習したいリズムの組み合わせを選びます。
・各数字キーが点灯しているときは、そのリズムを練習します。
・各数字キーが薄く点灯しているときは、そのリズムをスキップして練習しません。
・お手本のリズムに合わせて数字キーが点滅します。

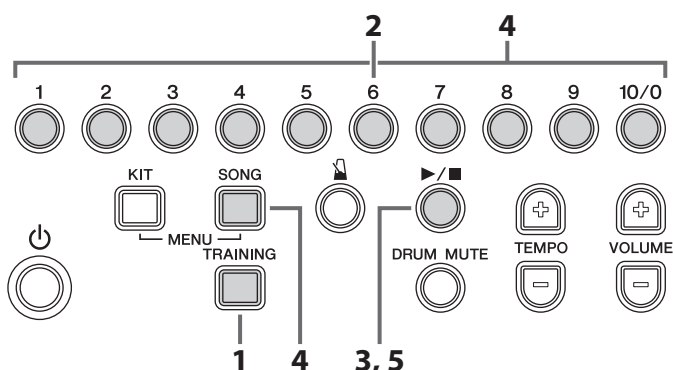


5. お手本のリズムに合わせて正確なタイミングでパッドを叩きます。
・お手本のリズムの音量を調節するには、[SONG] ボタンを押しながら [VOLUME +] ボタンまたは [VOLUME -] ボタンを押します。
・お手本のリズムをミュート(消音)してクリック音だけでトレーニングするには [DRUM MUTE] ボタンを押します。
・ミュートを解除するには [DRUM MUTE] ボタンをもう一度押します。
6. トレーニングを終了するには、[▶/■] ボタンをもう一度押します。
採点結果が数字キー ([1]～[10/0])の点灯表示と英語の音声ガイドで確認できます。採点結果の詳細は基本操作(29ページ)の「採点機能について」を参照してください。

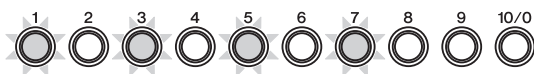
- NOTE**
- ・ [▶/■] ボタンを押してもトレーニングを終了することができます。
 - ・ トレーニングの難易度を調節するには、メニューモードの“難易度”の設定(50ページ)を参照してください。
 - ・ このトレーニングで、正確に叩けなかった場合にドラムの音を鳴らす/鳴らさない設定ができます。メニューモードの“タイミング外の発音”の設定(50ページ)を参照してください。
 - ・ お手本のリズムを繰り返す小節数を変更できます。数字キーの([10/0])を押して数字キー[10/0]を薄く点灯させると4小節ごと、点灯させると1小節ごと、消灯させると2小節ごとにリズムが変化します。

TRAINING → 6 イージーセッション

ソングの伴奏に合わせてどのパッドを叩いてもドラムパターンが簡単に演奏できるトレーニングです。バンドのメンバーとセッション(合奏)をしている感覚を楽しめます。なお、このトレーニングには採点機能はありません。



1. [TRAINING] ボタンを押して、トレーニングモードに入ります。
2. 数字キーの[6]を押します。
[▶/■] ボタンが点滅して、スタンバイ状態になります。
3. [▶/■] ボタンを押して、伴奏の再生を始めます。
4. 伴奏に合わせてパッドを叩きます。
 - どのパッドを叩いても、内蔵のドラムパターンが自動的に演奏されます。叩いたパッドの音は鳴りません。
 - パッドを叩かないと、ドラムパターンは演奏されません。
 - 数字キーには、ドラムパターンを叩くタイミング(ガイド)が薄く点灯されます。



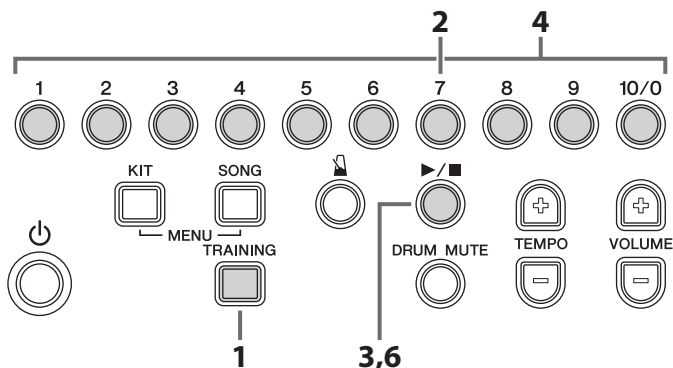
薄く点灯＝ドラムパターンを叩くタイミング

- ドラムパターンを正確なリズムで演奏させるには、数字キーが薄く点灯している箇所を正確なタイミングで叩きます。
 - トレーニング中にソングを変えるには、[SONG] ボタンを押しながら数字キー ([1]～[10/0]) を押します。
5. トレーニングを終了するには、[▶/■] ボタンを押します。

NOTE このトレーニングでは、[DRUM MUTE] ボタンは使えません。



簡単にお手本のドラムパターンを楽しむトレーニングです。パッドを叩く強さやタイミングに、お手本のドラムパターンが自動的に合わせてくれます。また、ドラムパターンの合間に自分でフィルインを入れて楽しむこともできます。なお、このトレーニングには採点機能はありません。



1. **[TRAINING]** ボタンを押して、トレーニングモードに入ります。
2. 数字キーの**[7]**を押します。
[▶/■] ボタンが点滅して、スタンバイ状態になります。
3. **[▶/■]** ボタンを押して、トレーニングを開始します。
お手本のドラムパターンが1回だけ流れます。また、ドラムパターンに合わせて数字キー (**[1]** ~ **[10/0]**) が光ります。
4. お手本のドラムパターンを変えるには、数字キー (**[1]** ~ **[10/0]**) を押します。
5. ハイハットパッドまたはキックパッドを叩くたびに、ドラムパターンが少しずつ進みます。

- ・ドラムパターンを進めるために叩くパッドや進める拍数はデータリストの楽譜(62ページ)をご覧ください。
- ・パッドを叩く速さに応じて、ドラムパターンのテンポも変化します。
- ・パッドを叩く強さに応じて、ドラムパターンの音量も変化します。

NOTE

- ・ドラムパターンを進めるために叩くパッドを選択できます。メニューモードの“グループトラッカーのリード種類” (51 ページ) を参照してください。
- ・パッドを叩くたびに進むお手本のドラムパターンの拍数を設定できます。メニューモードの“グループトラッカーのリード拍数” (51 ページ) を参照してください。

- ・一定時間パッドを叩かないと、ドラムパターンは先頭の小節に戻ります。

NOTE

パッドを叩かないとき、ドラムパターンが先頭の小節に戻るまでの時間を設定できます。メニューモードの“グルーブトラッカーの戻り時間”の設定(50ページ)を参照してください。

- 6.** トレーニングを終了するには、[▶/■] ボタンを押します。

お手本のドラムパターンで特定の楽器パートをミュートする方法

お手本となるドラムパターン特定の楽器パート(スネア、キック、タム、ハイハット、シンバルなど)だけをミュート(消音)できます。たとえば、お手本のスネアをミュートすれば、スネアについてはオリジナルフレーズを演奏できます。

1. [DRUM MUTE] ボタンを押して、点灯させます。

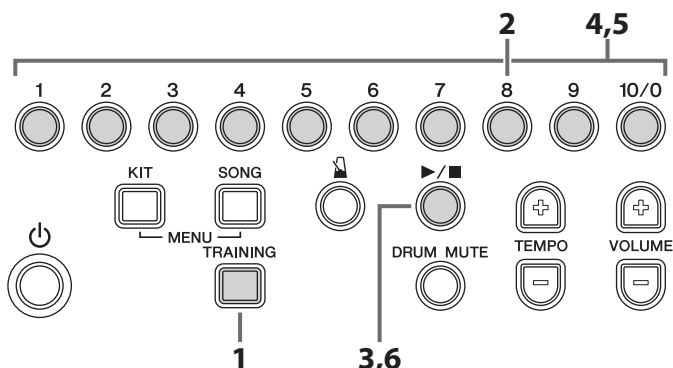


- 2. お手本のドラムパターンでミュートしたい楽器パートのパッドを叩きます。**
- ・その楽器パートがミュートされます。
 - ・ミュートされた楽器パートのパッドをしばらく叩かないと、ミュートは自動的に解除されます。
- 3. [DRUM MUTE] ボタンを再び押すと、ミュートはすべて解除され、消灯します。**

NOTE このトレーニングでは、 ボタンは使えません。

TRAINING → 8 パッドゲート

お手本のドラムパターンと同じフレーズを叩かないと発音しないトレーニングです。トレーニング後に採点結果が数字キー ([1]～[10/0]) の点灯表示と音声ガイドで確認できます。



1. [TRAINING] ボタンを押して、トレーニングモードに入ります。
2. 数字キーの[8]を押します。
[▶/■] ボタンが点滅して、スタンバイ状態になります。
3. [▶/■] ボタンを押して、トレーニングを開始します。
 - ・お手本のドラムパターンが再生されます。
 - ・お手本のドラムパターンに合わせて数字キー ([1]～[10/0]) が光ります。
4. 練習したいお手本のドラムパターンを数字キー ([1]～[10/0]) で選びます。
お手本のドラムパターンは、データリストの楽譜 (62ページ) をご覧ください。
5. お手本のドラムパターンと同じフレーズを叩きます。
 - ・タイミングを外して叩いた場合は音が鳴りません。
 - ・お手本のドラムパターンと同じフレーズを叩かないと音が鳴りません。
 - ・お手本のドラムパターンを変えたいときは、数字キー ([1]～[10/0]) を押します。
6. トレーニングを終了するには、[▶/■] ボタンを押します。
採点結果が数字キー ([1]～[10/0]) の点灯表示と英語の音声ガイドで確認できます。採点結果の詳細は基本操作 (29ページ) の「採点機能について」を参照してください。

お手本のドラムパターンで特定の楽器パートをミュートする方法

お手本となるドラムパターンの特定の楽器パート (スネア、キック、タム、ハイハット、シンバルなど) だけをミュート (消音) できます。たとえば、お手本のスネアをミュートすればスネアに専念してトレーニングができます。

1. [DRUM MUTE] ボタンを押して、点灯させます。

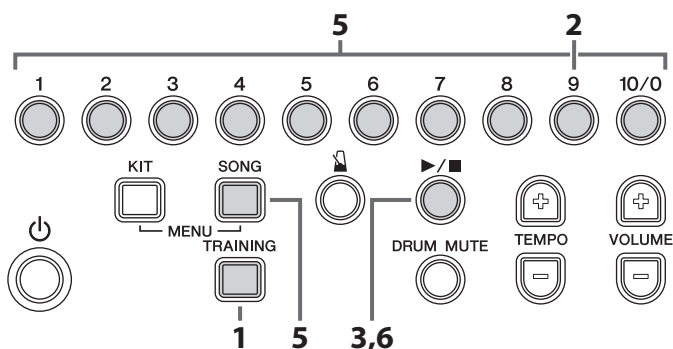


2. お手本のドラムパターンでミュートしたい楽器パートのパッドを叩きます。
 - ・その楽器パートがミュートされます。
 - ・ミュートされた楽器パートのパッドをしばらく叩かないと、ミュートは自動的に解除されます。
3. [DRUM MUTE] ボタンを再び押すと、ミュートはすべて解除され、消灯します。

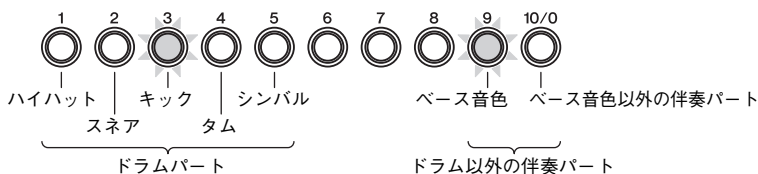
- NOTE**
- ・トレーニングの難易度を調節したいときは、メニューモードの“難易度”の設定 (50ページ) を参照してください。
 - ・タイミングを外して叩いた場合に音を鳴らす/鳴らさないを設定したいときは、メニューモードの“タイミング外の発音” (50ページ) を参照してください。
 - ・お手本のドラムパターンと同じフレーズを叩かなかったときの当たり/はずれの判定方法を設定したいときは、メニューモードの“パッドゲートのグループ設定” (52ページ) を参照してください。

TRAINING → 9 パートミュート

ソングにおけるドラムパートの各音色(ハイハット、スネア、キック、タム、シンバル)や、ドラム以外の伴奏パートをミュート(消音)します。なお、このトレーニングには採点機能はありません。



1. [TRAINING] ボタンを押して、トレーニングモードに入ります。
2. 数字キーの[9]を押します。
[▶/■] ボタンが点滅して、スタンバイ状態になります。
3. [▶/■] ボタンを押して、ソングの再生を始めます。
各数字キーに、ドラムパートおよびドラム以外の伴奏パート音色が割り当てられ、ミュートのオン/オフができるようになります。(下記参照)
4. パッドを叩いてトレーニングします。
5. トレーニング中にソングを変えるには、[SONG] ボタンを押しながら数字キー ([1]～[10/0]) を押します。
6. トレーニングを終了するには、[▶/■] ボタンを押します。



■ドラムパートの各音色をミュートする

●数字キー ([1]～[5]) を押してミュートする

1. ミュートしたい楽器の数字キーを押します。
ミュートされた楽器の数字キーが点灯します。
2. ミュートを解除するには、点灯している楽器の数字キーをもう一度押します。
ミュートが解除されると、楽器の数字キーは消灯します。

NOTE パッドを叩くと、その楽器に対応する数字キーが点滅します。

●パッドを叩いてミュートする

1. [DRUM MUTE] ボタンを押して、点灯させます。
2. ミュートしたい楽器のパッドを叩きます。
該当する楽器がミュートされ、該当する数字キーが点灯します。
3. [DRUM MUTE] ボタンを再び押して消灯させると、ミュートはすべて解除されます。

NOTE ミュートされた楽器をしばらく叩かないと、その楽器のミュートは自動的に解除され、数字キーは消灯します。

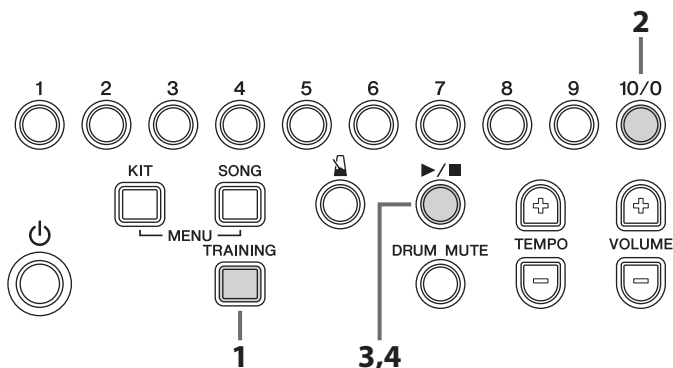
■ドラム以外の伴奏パートをミュートする

1. ベース音色をミュートするには数字キーの[9]を、ベース音色以外の伴奏パートをミュートするには[10/0]を押します。
ミュートされた伴奏パートの数字キーが点灯します。
2. ミュートを解除するには、点灯している数字キーをもう一度押します。
ミュートが解除されると、伴奏パートの数字キーが消灯します。

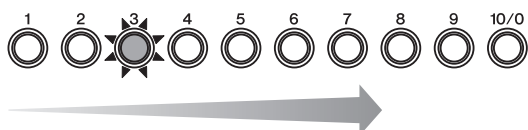
TRAINING → 10/0 **ファストブラスト**

制限時間内にどれだけ激しく叩けるかを競うトレーニングです。ゲーム感覚で楽しく高得点を狙いましょう。また、トレーニング後に採点結果が数字キー ([1]～[10/0]) の点灯表示と音声ガイドで確認できます。

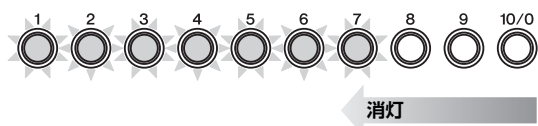
NOTE ファストブラストのみ、他のトレーニングと採点方式が異なります。



1. [TRAINING] ボタンを押して、トレーニングモードに入ります。
2. 数字キーの[10/0]を押します。
[▶/■] ボタンが点滅して、スタンバイ状態になります。
3. [▶/■] ボタンを押します。
4. 制限時間(10秒)内に、より多くのパッドを目いっぱい叩いてください。
 - パッドを叩き始めてからトレーニングは開始されます。
 - パッドを叩き、得点が増えるたびに数字キーの点灯が左から右に流れます。



- トレーニングの残り時間は、数字キーの薄い点灯で確認できます。トレーニング中に数字キーの薄い点灯が右から左へ消灯していき、すべてが消灯するとトレーニングは終了です。



- 制限時間が過ぎると、採点結果が数字キー ([1]～[10/0]) の点灯表示と英語の音声ガイドで確認できます。

例： 採点結果が980点の場合、数字キーは[9]→[8]→[0]の順に光ります。

- トレーニングを中断したいときは、[▶/■] ボタンをもう一度押します。

NOTE

- もう一度採点結果を知りたいときは、数字キー ([1]～[10/0]) のいずれか1つを押します。
- トレーニングする時間(長さ)を変えたいときは、メニューモードの“ファストブラストのタイマー”の設定(52ページ)を参照してください。

メニューモードで詳細な設定をする

メニューモードには、この製品をより細かく設定できる7つの項目があります。

1 クリック設定

1-1. パターン	41 ページ
1-2. 拍子	41 ページ
1-3. 音色	41 ページ
1-4. 数字キーの光り方	42 ページ

2 キット設定

2-1. 各パッドの音色	42 ページ
2-2. 各パッドの音量	42 ページ
2-3. 各パッドのパン(ステレオ定位)	43 ページ
2-4. ツーバス	43 ページ
2-5. リバース(残響効果)	43 ページ

3 MIDI設定

3-1. ローカルコントロール	44 ページ
3-2. ノートナンバー	44 ページ

4 ハイハット設定

4-1. ハイハットクラッチの位置	45 ページ
4-2. ハイハットブラッシュの感度	45 ページ
4-3. フットクローズの位置	45 ページ
4-4. フットクローズのペロシティー	45 ページ
4-5. キックのペロシティー	46 ページ

5 トリガー設定

5-1. パッドのペロシティーカーブ	46 ページ
5-2. クロストーク	47 ページ
5-3. スネアパッドの種類	48 ページ
5-4. ベダルの種類	48 ページ
5-5. ゲイン	49 ページ
5-6. 最小レベル	49 ページ

6 トレーニング設定

6-1. タイマー	49 ページ
6-2. 難易度	50 ページ
6-3. タイミング外の発音	50 ページ
6-4. グループトラッカーの戻り時間	50 ページ
6-5. グループトラッカーのリード種類	51 ページ
6-6. グループトラッカーのリード拍数	51 ページ
6-7. パッドゲートのグループ設定	52 ページ
6-8. ファストブラストのタイマー	52 ページ

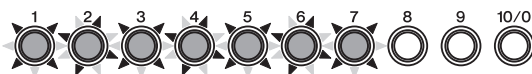
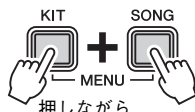
7 その他設定

7-1. キットロック	53 ページ
7-2. ボイスナビゲーションの音量	53 ページ
7-3. オートパワーオフ時間	53 ページ
7-4. ステレオ/モノラル	53 ページ
7-5. キットの初期化	54 ページ
7-6. ソングの初期化	54 ページ
7-7. 電源オン時の状態に復元	55 ページ
7-8. ファクトリーセット	55 ページ

メニューモードの基本操作

ここでは、メニューモードに入り、設定したい項目を選ぶ基本的な手順を説明します。各設定項目の詳しい内容については、次ページ以降の説明をご覧ください。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押し、メニューモードに入ります。数字キーの[1]～[7]が点滅します。



2. 設定したい項目を数字キーで選びます(左のツリー図と下の表を参照)。

数字キー	項目	数字キー	項目
[1]	クリック設定	[5]	トリガー設定
[2]	キット設定	[6]	トレーニング設定
[3]	MIDI設定	[7]	その他設定
[4]	ハイハット設定		

3. 各項目の中にある設定番号を数字キーで選びます(左ツリー図参照)。現在の設定値が、数字キーで点滅を繰り返します。

4. 設定値を入力します。
ペロシティーなど数値を入力するときは、設定値を数字キーで直接入力します。たとえば、105の値を入力したいときは、数字キーを[1]→[10/0]→[5]の順に押します。

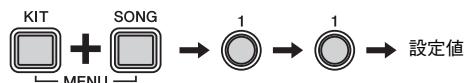
- ・数字キーの[10/0]は、0を入力するときに使います。10の入力には使いません。
- ・数字キーによる入力がいざらなくないと、設定値は確定されます。
- ・入力した設定値が、数字キーで点滅を繰り返します。

NOTE [TEMPO+] ボタンや[TEMPO-] ボタンで設定値を増減することもできます。[TEMPO+] ボタンで値が1つずつ増え、[TEMPO-] ボタンで値が1つずつ減ります。

1 クリック設定

1-1. パターン

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [1] → [1] → 設定値



クリックのパターンを、8種類のテンプレートから選べます。

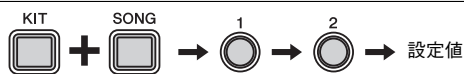
1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの[1]を押して“クリック設定”を選びます。
3. 数字キーの[1]を押して“パターン”を選びます。
4. お好みのテンプレートを、数字キーの[1]～[8]から1つ選んで押します。設定値は、下の表をご覧ください。

数字キー	設定値
[1]	
[2]	
[3]	
[4]	
[5]	
[6]	
[7]	
[8]	

NOTE 設定値が[2]、[4]、[6]、[8]のときは小節の先頭でアクセントの音が鳴ります。

1-2. 拍子

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [1] → [2] → 設定値



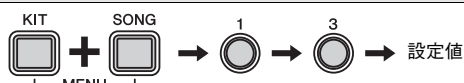
クリックの拍子を、1拍子から9拍子まで設定できます。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの[1]を押して“クリック設定”を選びます。
3. 数字キーの[2]を押して“拍子”を選びます。
4. お好みの拍子を、数字キーの[1]～[9]から1つ選んで押します。設定値は、下の表をご覧ください。

数字キー	設定値
[1]	1拍子
[2]	2拍子
[3]	3拍子
[4]	4拍子
[5]	5拍子
[6]	6拍子
[7]	7拍子
[8]	8拍子
[9]	9拍子

1-3. 音色

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [1] → [3] → 設定値



オーソドックスなメトロノーム音色をはじめ、カウベル音やスティック音、人間の声によるクリックから、お好みのクリック音色を選べます。

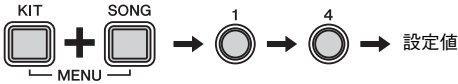
1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの[1]を押して“クリック設定”を選びます。
3. 数字キーの[3]を押して“音色”を選びます。

4. お好みのクリックの音色を、数字キーの[1]～[6]から1つ選んで押します。設定値は、下の表をご覧ください。

数字キー	設定値
[1]	メトロノーム 1
[2]	メトロノーム 2
[3]	カウベル
[4]	スティック
[5]	ヒューマン 1
[6]	ヒューマン 2

1-4. 数字キーの光り方

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [1] → [4] → 設定値



キットモードやソングモードでクリックを再生させたと
き、数字キーの[1]～[10/0]を点灯させることができ
ます。

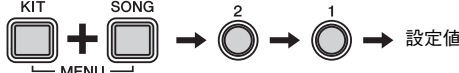
1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、
メニューモードに入ります。
2. 数字キーの[1]を押して “クリック設定” を選びま
す。
3. 数字キーの[4]を押して “数字キーの光り方” を選び
ます。
4. お好みの点灯方法を、数字キーの[1]～[3]から1つ
選んで押します。設定値は、下の表をご覧ください。

数字キー	設定値
[1]	オフ(点灯なし)
[2]	パターン1
[3]	パターン2

2 キット設定

2-1. 各パッドの音色

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [2] → [1] → 設定値



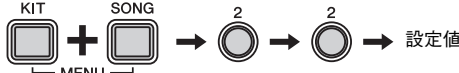
キットに割り当てられている各パッドの音色をお好みの
音に変更できます。あなただけのオリジナルキットを作
成しましょう。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、
メニューモードに入ります。
2. 数字キーの[2]を押して “キット設定” を選びます。
3. 数字キーの[1]を押して “各パッドの音色” を選びま
す。
4. 設定したいパッドを叩いて選びます。
5. 設定値(音色番号)を数字キー ([1]～[10/0])で入力
します。音色番号については、61 ページのボイスリ
ストを参照してください。

設定値
1～169

2-2. 各パッドの音量

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [2] → [2] → 設定値



キットに割り当てられている各パッドの音量を、お好み
の状態に調節しましょう。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、
メニューモードに入ります。
2. 数字キーの[2]を押して “キット設定” を選びます。
3. 数字キーの[2]を押して “各パッドの音量” を選びま
す。
4. 設定したいパッドを叩いて選びます。
5. 設定値(音量)を数字キー ([1]～[10/0])で入力しま
す。

設定値
0～127

2-3. 各パッドのパン(ステレオ定位)

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [2] → [3] → 設定値

キットに割り当てられている各パッドのパン(ステレオ定位)をお好みの状態に調節しましょう。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの[2]を押して“キット設定”を選びます。
3. 数字キーの[3]を押して“各パッドのパン”を選びます。
4. 設定したいパッドを叩いて選びます。
5. 設定値(パン)を数字キー([1]～[10/0])で入力します。値が小さいほどパンは左側になり、値が大きいほどパンは右側となります。センターの値は64です。

設定値
0～127

2-4. ツーバス

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [2] → [4] → 設定値

この機能を有効にすると、HI-HAT CONTROL端子に接続されたハイハットコントローラーを踏んだときにバスドラムの音を鳴らすことができるので、気軽にツーバスの演奏を楽しめます。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの[2]を押して“キット設定”を選びます。
3. 数字キーの[4]を押して“ツーバス”を選びます。
4. ツーバスの設定を、数字キーの[1]～[2]から1つ選んで押します。設定値は、下の表をご覧ください。

数字キー	設定値
[1]	オフ
[2]	オン

NOTE この機能を有効にすると、HI-HAT CONTROL端子に接続したハイハットコントローラーからハイハットオープン/クローズが操作できなくなります。

2-5. リバース(残響効果)

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [2] → [5] → 設定値

コンサートホールやライブハウスで演奏しているようなリバース(残響効果)を設定できます。

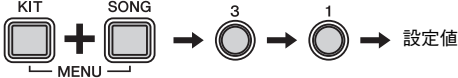
1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの[2]を押して“キット設定”を選びます。
3. 数字キーの[5]を押して“リバース(残響効果)”を選びます。
4. お好みのリバースを、数字キーの[1]～[10/0]から1つ選んで押します。設定値は、下の表をご覧ください。

数字キー	設定値
[1]	オフ
[2]	ホール1
[3]	ホール2
[4]	ホール3
[5]	ルーム1
[6]	ルーム2
[7]	ルーム3
[8]	ステージ1
[9]	ステージ2
[10/0]	プレート

3 MIDI設定

3-1. ローカルコントロール

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [3] → [1] → 設定値



パッドやソングによる演奏に対して内蔵音源が発音する(オン) かない(オフ) かを設定できます。通常は“オン”に設定します。“オフ”にすると、本体のパッド/コントローラー部と音源部が内部的に切り離され、パッドを叩いても音が出なくなります。シーケンサーやDAWソフトウェアなどに、ドラムの演奏をMIDIデータとして記録するときには、“オフ”にするとよいでしょう。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの[3]を押して“MIDI設定”を選びます。
3. 数字キーの[1]を押して“ローカルコントロール”を選びます。
4. ローカルコントロールの設定を、数字キーの[1]～[2]から1つ選んで押します。設定値は、下の表をご覧ください。

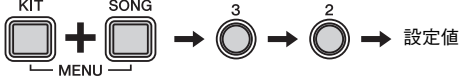
数字キー	設定値	説明
[1]	オフ	内蔵音源が鳴らなくなります。
[2]	オン	内蔵音源が鳴ります。

NOTE

- ・ローカルコントロールの設定値をオフにしても、本体に受信されたMIDIメッセージは発音します。
- ・ローカルコントロールの設定値をオフにしても、本体の演奏情報はMIDI出力されます。

3-2. ノートナンバー

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [3] → [2] → 設定値



各パッドを叩いたときにMIDI出力されるノートナンバーを設定できます。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの[3]を押して“MIDI設定”を選びます。
3. 数字キーの[2]を押して“ノートナンバー”を選びます。
4. 設定したいパッドを叩いて選びます。
5. 設定値(ノートナンバー)を数字キー ([1]～[10/O]) で入力します。

設定値
0～127

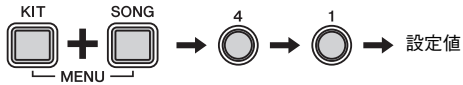
NOTE

この機能は、本体をコンピューターに接続したときに有効です。詳しくはMIDIリファレンスマニュアル(PDF)をご覧ください。

4 ハイハット設定

4-1. ハイハットクラッチの位置

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [4] → [1] → 設定値



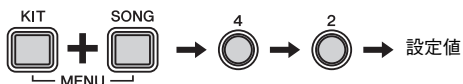
ハイハットクラッチの位置を調節した効果が得られます。設定値が小さいほどハイハットオープン音が速く減衰します。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの [4] を押して “ハイハット設定” を選びます。
3. 数字キーの [1] を押して “ハイハットクラッチの位置” を選びます。
4. 設定値を数字キー ([1] ~ [10/0]) で入力します。

設定値
0 ~ 64

4-2. ハイハットスプラッシュの感度

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [4] → [2] → 設定値



ハイハットスプラッシュを鳴らすときの感度を設定できます。値を大きくすると、ハイハットスプラッシュは鳴りやすくなります。しかしハイハットペダルを軽く踏んでリズムを取るときなど、音を鳴らしたくないときにも音が鳴る場合があります。ハイハットスプラッシュを鳴らしたくない場合は “オフ” に設定します。

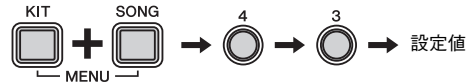
1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの [4] を押して “ハイハット設定” を選びます。
3. 数字キーの [2] を押して “ハイハットスプラッシュの感度” を選びます。
4. 設定値を数字キー ([1] ~ [10/0]) で入力します。

設定値
0 ~ 127

NOTE 設定値が0のときは “オフ” になります。

4-3. フットクローズの位置

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [4] → [3] → 設定値



ハイハットコントローラーを踏んだときに、オープン音からクローズ音に切り替わる位置を調節できます。値が小さいほどトップとボトムの開きが狭い感じになります。値を大きくしていくとトップとボトムの開きが広くなり、ペダルを踏みこんでもフットクローズ/フットスプラッシュの音が鳴らなくなります。

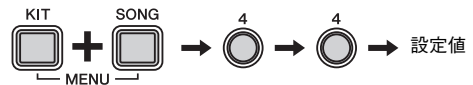
この設定項目は、ハイハットコントローラー HH65 使用時のみ有効です。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの [4] を押して “ハイハット設定” を選びます。
3. 数字キーの [3] を押して “フットクローズの位置” を選びます。
4. 設定値を数字キー ([1] ~ [10/0]) で入力します。

設定値
0 ~ 32

4-4. フットクローズのペロシティー

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [4] → [4] → 設定値



フットクローズ演奏時のペロシティー (音の強さ) を調節できます。

この設定項目は、DTX400K 付属のハイハットコントローラー使用時のみ有効です。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの [4] を押して “ハイハット設定” を選びます。
3. 数字キーの [4] を押して “フットクローズのペロシティー” を選びます。
4. 設定値 (ペロシティー) を数字キー ([1] ~ [10/0]) で入力します。

設定値
1 ~ 127

4-5. キックのペロシティー

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [4] → [5] → 設定値

KIT

+

SONG

MENU

→

4

→

5

→

設定値

ハイハットコントローラーを踏んだときに発音されるキック音のペロシティー（音の強さ）を調節できます。このパラメーターは、“ツープス”の設定(43ページ)が“オン”に設定されたキットが選ばれているときのみ有効となります。

この設定項目は、DTX400K付属のハイハットコントローラー使用時のみ有効です。

- 1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
- 2. 数字キーの [4] を押して “ハイハット設定” を選びます。
- 3. 数字キーの [5] を押して “キックのペロシティー” を選びます。
- 4. 設定値(ペロシティー)を数字キー ([1]～[10/0]) で入力します。

設定値
1～127

5 トリガー設定

5-1. パッドのペロシティーカーブ

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [5] → [1] → 設定値

KIT

+

SONG

MENU

→

5

→

1

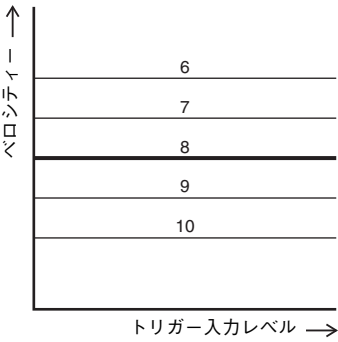
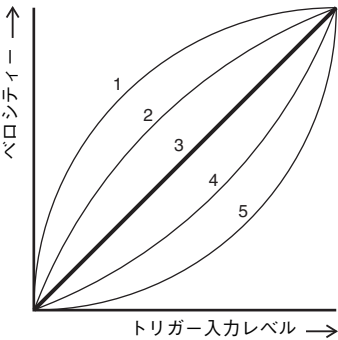
→

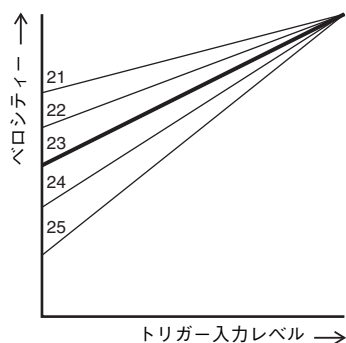
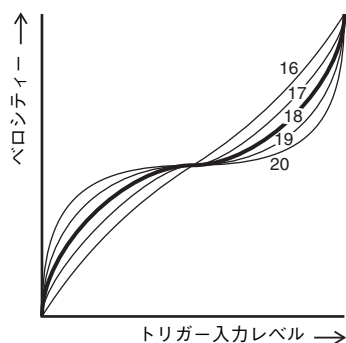
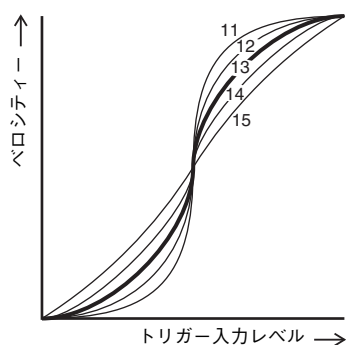
設定値

パッドを叩いたときに入力される信号(トリガー入力レベル)の変化に対する音の強さ(ペロシティー)の変化の仕方(ペロシティーカーブ)を設定できます。

- 1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
- 2. 数字キーの [5] を押して “トリガー設定” を選びます。
- 3. 数字キーの [1] を押して “パッドのペロシティーカーブ” を選びます。
- 4. 設定したいパッドを叩いて選びます。
- 5. 設定値(ペロシティーカーブ)を数字キー ([1]～[10/0]) で入力します。詳しくは、下の図をご覧ください。

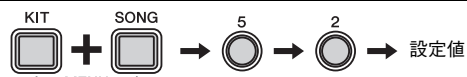
設定値
1～25





5-2. クロストーク

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [5] → [2] → 設定値



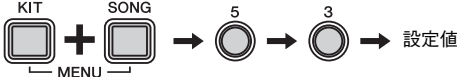
パッドを叩いたとき、共振やパッド間の干渉により他のパッドからトリガー信号が発生してしまうことをクロストークといいます。このパラメーターを調節することによってクロストークの発生を防止できます。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの [5] を押して “トリガー設定” を選びます。
3. 数字キーの [2] を押して “クロストーク” を選びます。
4. 設定したいパッドを叩いて選びます。
5. 設定値(%)を数字キー([1]～[10/0])で入力します。
設定値が大きいほどクロストークが発生しにくくなりますが、弱打演奏のときに他のパッドと同時に発音しにくくなります。

設定値
0～99

5-3. スネアパッドの種類

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [5] → [3] → 設定値



スネアパッドの種類を設定できます。

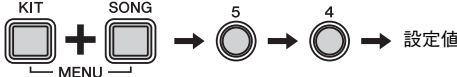
- 1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
- 2. 数字キーの [5] を押して “トリガー設定” を選びます。
- 3. 数字キーの [3] を押して “スネアパッドの種類” を選びます。
- 4. お使いのスネアパッドの種類を、数字キーの [1] ～ [6] から 1 つ選んで押します。設定値は下の表をご覧ください。

数字キー	設定値
[1]	自動判別 ([2] と [3] の判別をします。)
[2]	TP70S
[3]	DTX400K 付属のスネアパッド
[4]	XP シリーズ
[5]	TP70S リバース
[6]	XP シリーズ リバース

- NOTE
- ・ 設定値が [1] のときは、同梱されているスネアパッドの種類を電源オン時に自動判別しています。また、数字キー [1] を押し続けると数字キー [2] または [3] が点灯して、自動判別された設定値が確認できます。
 - ・ スネアパッドを入れ替えたときは、お使いの状態に合わせて [2] ～ [4] の設定値に変更してください。例えば XP シリーズを追加する場合は、[4] に設定してください。
 - ・ 設定値を [5] か [6] に設定すると、リム 1 とリム 2 の音色が逆になります。左利きの方が左右対称のセッティングをする場合などに有効です。

5-4. ペダルの種類

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [5] → [4] → 設定値



ハイハットコントローラーとキックの種類を設定できます。

- 1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
- 2. 数字キーの [5] を押して “トリガー設定” を選びます。
- 3. 数字キーの [4] を押して “ペダルの種類” を選びます。
- 4. お使いのペダルの種類を、数字キーの [1] ～ [5] から 1 つ選んで押します。設定値は下の表をご覧ください。

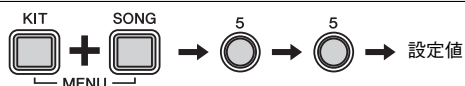
数字キー	設定値	
	ハイハット コントローラー	キック
[1]	自動判別 ([2] と [3] の判別をします。)	
[2]	HH65	KP65
[3]	DTX400K 付属の ハイハットコント ローラー	KU100
[4]	DTX400K 付属の ハイハットコント ローラー	KP65
[5]	HH65	KU100

- NOTE
- ・ 通常は [1] の設定値でお使いいただけます。
 - ・ 設定値が [1] のときは、同梱されているペダルの種類を電源オン時に自動判別しています。また、数字キー [1] を押し続けると数字キー [2] または [3] が点灯して、自動判別された設定値が確認できます。
 - ・ 電源を入れる前にハイハットコントローラーを接続してください。また電源オン時は、ハイハットコントローラーを踏まないでください。ペダルの自動判別がうまく作動せずに、キックの音が出にくくなる場合があります。
 - ・ ハイハットコントローラーやキックを入れ替えたときは、お使いの状態に合わせて [2] ～ [5] の設定値に変更してください。

5-5. ゲイン

手順：

MENU ([KIT] + [SONG]) → [5] → [5] → 設定値



パッドごとに入力されるトリガー信号のゲイン(増幅率)を設定します。この値を大きくするほど、パッドを弱く叩いても発音しやすくなります。

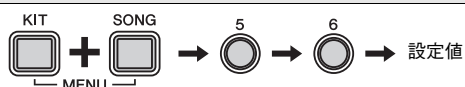
1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの [5] を押して “トリガー設定” を選びます。
3. 数字キーの [5] を押して “ゲイン” を選びます。
4. 設定したいパッドを叩いて選びます。
5. 設定値(ゲイン)を数字キー ([1]～[10/0])で入力します。

設定値
1～127

5-6. 最小レベル

手順：

MENU ([KIT] + [SONG]) → [5] → [6] → 設定値



ここで設定した最小レベル以下のトリガー信号では発音しません。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの [5] を押して “トリガー設定” を選びます。
3. 数字キーの [6] を押して “最小レベル” を選びます。
4. 設定したいパッドを叩いて選びます。
5. 設定値(%)を数字キー ([1]～[10/0])で入力します。

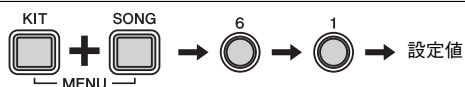
設定値
0～99 (%)

6 トレーニング設定

6-1. タイマー

手順：

MENU ([KIT] + [SONG]) → [6] → [1] → 設定値



トレーニングの練習時間を設定できます。トレーニングを開始してから設定した時間が経過すると、トレーニングが自動的に停止します。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの [6] を押して “トレーニング設定” を選びます。
3. 数字キーの [1] を押して “タイマー” を選びます。
4. お好みの練習時間を、数字キーの [1]～[10/0] から 1つ選んで押します。設定値は、下の表をご覧ください。

数字キー	設定値
[1]	オフ
[2]	30秒
[3]	60秒
[4]	90秒
[5]	120秒
[6]	150秒
[7]	180秒
[8]	300秒
[9]	480秒
[10/0]	600秒




NOTE ここで設定した練習時間は、以下のトレーニングのみに有効です。

- ・グループチェック
- ・リズムゲート
- ・メジャーブレイク
- ・テンポアップ/ダウン
- ・チェンジアップ
- ・パッドゲート

他のトレーニングには効果ありません。

6-2. 難易度

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [6] → [2] → 設定値

 +  →  →  → 設定値

テンポアップ/ダウン(33ページ)、チェンジアップ (34ページ)、パッドゲート(37ページ)において、トレーニングの難易度を設定できます。





- 1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
- 2. 数字キーの [6] を押して “トレーニング設定” を選びます。
- 3. 数字キーの [2] を押して “難易度” を選びます。
- 4. 設定値(難易度)を数字キー ([1] ～ [5]) で入力します。値が大きいほど、トレーニングは難しくなります。

設定値
1 ～ 5

NOTE ここで設定した難易度は、テンポアップ/ダウン、チェンジアップ、パッドゲートのみに有効です。他のトレーニングには効果ありません。

6-3. タイミング外の発音

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [6] → [3] → 設定値

 +  →  →  → 設定値

テンポアップ/ダウン(33ページ)、チェンジアップ (34ページ)、パッドゲート(37ページ)において、タイミングを外して叩いた場合に音を鳴らす/鳴らさないを設定できます。

- 1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
- 2. 数字キーの [6] を押して “トレーニング設定” を選びます。
- 3. 数字キーの [3] を押して “タイミング外の発音” を選びます。





- 4. 設定値を、数字キーの [1] ～ [2] から1つ選んで押します。設定値は、下の表をご覧ください。

数字キー	設定値	説明
[1]	オフ	タイミング外では発音しません。
[2]	オン	タイミング外でも発音します。

NOTE ここでの設定値は、テンポアップ/ダウン、チェンジアップ、パッドゲートのみに有効です。他のトレーニングには効果ありません。

6-4. グループトラッカーの戻り時間

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [6] → [4] → 設定値

 +  →  →  → 設定値

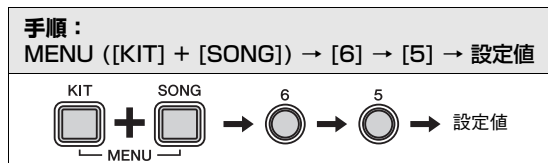
グループトラッカー (36ページ)において、パッドを叩かないときにお手本のドラムパターンが先頭小節に戻るまでの時間を設定できます。

- 1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
- 2. 数字キーの [6] を押して “トレーニング設定” を選びます。
- 3. 数字キーの [4] を押して “グループトラッカーの戻り時間” を選びます。
- 4. 設定値(戻り時間)を数字キー ([1] ～ [10/0]) で入力します。値が大きいほど戻り時間は長くなります。

設定値
1 ～ 10

NOTE ・ 値が1のときは戻らない設定となります。
・ ここで設定した時間は、トレーニングのグループトラッカーのみに有効です。他のトレーニングには効果ありません。

6-5. グループトラッカーのリード種類



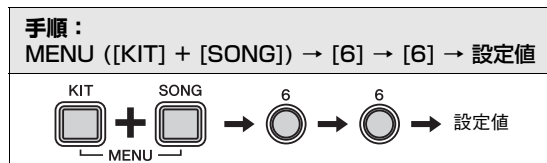
グループトラッカー (36ページ)において、お手本のドラムパターンをリードする(進める)ために叩くパッドを選択できます。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの [6] を押して “トレーニング設定” を選びます。
3. 数字キーの [5] を押して “グループトラッカーのリード種類” を選びます。
4. 設定値を、数字キーの [1] ~ [6] から 1 つ選んで押します。設定値は、下の表をご覧ください。

数字キー	設定値	説明
[1]	自動	お手本のドラムパターンに最適な設定となります。
[2]	シンバル + ハイハット 1	シンバルとハイハットが有効となり、設定したパッド自身の音が鳴ります。
[3]	シンバル + ハイハット 2	シンバルとハイハットが有効となります。
[4]	キック	キックが有効となります。
[5]	スネア + ハイハット	スネアとハイハットが有効となります。
[6]	すべて	すべてのパッドが有効となります。

- NOTE**
- ・設定値が [3] ~ [6] のときは、設定したパッド自身の音は鳴りません。
 - ・設定値が [6] のときは、[DRUM MUTE] ボタンでお手本のドラムパターンをミュートできません。

6-6. グループトラッカーのリード拍数



グループトラッカー (36ページ)において、パッドを叩くたびにリードする(進む)お手本のドラムパターンの拍数を設定できます。

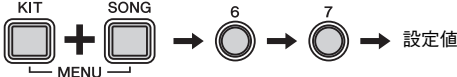
1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの [6] を押して “トレーニング設定” を選びます。
3. 数字キーの [6] を押して “グループトラッカーのリード拍数” を選びます。
4. 設定値を、数字キーの [1] ~ [5] から 1 つ選んで押します。設定値は、下の表をご覧ください。

数字キー	設定値	説明
[1]	自動	お手本のドラムパターンに応じて最適な拍数が設定され、進みます。
[2]		お手本のドラムパターンが4分音符ずつ進みます。
[3]		お手本のドラムパターンが8分音符ずつ進みます。
[4]		お手本のドラムパターンが16分音符ずつ進みます。
[5]		お手本のドラムパターンが8分3連符ずつ進みます。

- NOTE**
- ・ここで設定した拍数は、グループトラッカーのみに有効です。他のトレーニングには効果ありません。
 - ・設定値が [1] のときは、数字キー [1] を押し続けると数字キー [2] ~ [5] のいずれか1つが点灯して、自動判別された設定値が確認できます。

6-7. パッドゲートのグループ設定

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [6] → [7] → 設定値



パッドゲート(37ページ)において、お手本のドラムパターンと同じフレーズを叩かなかったときの当たり/はずれの判定方法を設定できます。

- 1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
- 2. 数字キーの [6] を押して “トレーニング設定” を選びます。
- 3. 数字キーの [7] を押して “パッドゲートのグループ設定” を選びます。
- 4. 設定値を、数字キーの [1] ～ [4] から 1 つ選んで押します。設定値は、下の表をご覧ください。

数字キー	設定値	説明
[1]	全パッド	どのパッドを叩いても、タイミングが正しければ当たりとします。
[2]	グループ1	5種類のグループ(キック、スネア、タム、シンバル、ハイハット)内で正しいタイミングで叩いていれば当たりとします。
[3]	グループ2	グループ1の設定よりも難しい設定です。グループ1の設定に対し、タム1,2,3とシンバル類は区別されます。また、ハイハットはシンバルとフットが区別されます。
[4]	全ノート	お手本のドラムパターンとまったく同じフレーズを叩かないと当たりとなりません。

NOTE

- ここで設定した判定方法は、パッドゲートのみに有効です。他のトレーニングには効果ありません。
- 設定値が大きいくほど、難易度が高くなります。

6-8. ファストブラストのタイマー

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [6] → [8] → 設定値



ファストブラスト(39ページ)において、練習する時間を設定できます。設定した時間になると、トレーニングが自動的に停止します。

- 1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
- 2. 数字キーの [6] を押して “トレーニング設定” を選びます。
- 3. 数字キーの [8] を押して “ファストブラストのタイマー” を選びます。
- 4. お好みの練習時間を、数字キーの [1] ～ [10/0] から 1 つ選んで押します。設定値は、下の表をご覧ください。

数字キー	設定値
[1]	10秒
[2]	30秒
[3]	60秒
[4]	90秒
[5]	120秒
[6]	150秒
[7]	180秒
[8]	300秒
[9]	480秒
[10/0]	600秒

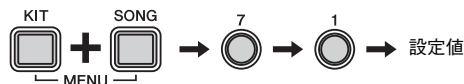
NOTE

ここで設定した練習時間は、ファストブラストのみに有効です。他のトレーニングには効果ありません。

7 その他設定

7-1. キットロック

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [7] → [1] → 設定値



通常、ソングを選ぶとキットもソングに最適なものに自動で切り替わります。お好みのキットのまま、さまざまな内蔵曲に合わせて練習したいときはキットロックを“オン”にすると便利です。

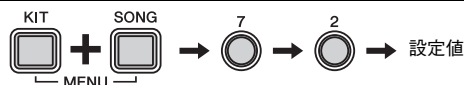
1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの [7] を押して“その他設定”を選びます。
3. 数字キーの [1] を押して“キットロック”を選びます。
4. 設定値を、数字キーの [1] ～ [2] から1つ選んで押します。設定値は、下の表をご覧ください。

数字キー	設定値
[1]	オフ
[2]	オン

NOTE “キットロック”がオンの状態でも、本体パネル操作によるキット切り替えは可能です。

7-2. ボイスナビゲーションの音量

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [7] → [2] → 設定値



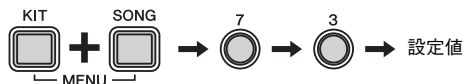
1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの [7] を押して“その他設定”を選びます。
3. 数字キーの [2] を押して“ボイスナビゲーションの音量”を選びます。
4. 設定値(ボイスナビゲーションの音量)を、数字キーの [1] ～ [10/0] で入力します。値が大きいほど、ボイスナビゲーションの音量は大きくなります。

設定値
1 ～ 10

NOTE 設定値が1のときは、ボイスナビゲーションが鳴りません。

7-3. オートパワーオフ時間

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [7] → [3] → 設定値



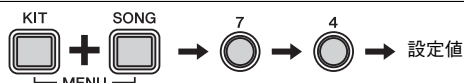
オートパワーオフ(20ページ)するまでの時間を設定したり、オートパワーオフをしない設定ができます。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの [7] を押して“その他設定”を選びます。
3. 数字キーの [3] を押して“オートパワーオフ時間”を選びます。
4. 設定値を数字キーの [1] ～ [7] から1つ選んで押します。設定値は、下の表をご覧ください。

数字キー	設定値
[1]	オートパワーオフをしない
[2]	5分
[3]	10分
[4]	15分
[5]	30分
[6]	60分
[7]	120分

7-4. ステレオ/モノラル

手順：
MENU ([KIT] + [SONG]) → [7] → [4] → 設定値

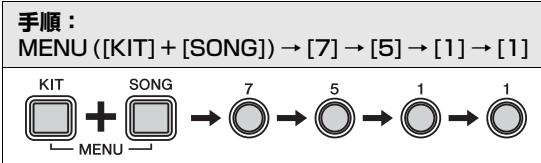


[PHONES/OUTPUT] 端子からの出力を、ステレオ出力/モノラル出力に切り替えることができます。たとえば、この端子に標準モノラルフォーンケーブルを使って外部スピーカーやミキサーなどと接続する場合は、モノラルに設定することをおすすめします。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの [7] を押して“その他設定”を選びます。
3. 数字キーの [4] を押して“ステレオ/モノラル”を選びます。
4. 設定値を、数字キーの [1] ～ [2] から1つ選んで押します。設定値は、下の表をご覧ください。

数字キー	設定値
[1]	ステレオ
[2]	モノラル

7-5. キットの初期化

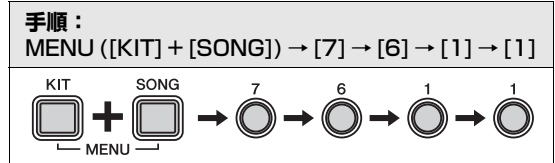


設定を変更したキットを購入時の状態に戻すことができます。キットを元の状態に戻したいときは初期化を行います。

【注 記】 キットの初期化を実行すると、キットの元の内容は消去されます。よく確認してから実行してください。

1. [KIT] ボタンを押します。
2. 数字キーの[1]～[10/0]で、初期化したいキットを選びます。
3. [KIT] ボタンを押しながら[SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
4. 数字キーの[7]を押して“その他設定”を選びます。
5. 数字キーの[5]を押して“キットの初期化”を選びます。
 - ・数字キーの[1]が点灯します。
6. 数字キーの[1]を押します。
 - ・数字キーの[1]が点滅します。
 - ・初期化をやめたいときは、[KIT] ボタンを押してメニューモードから抜けます。
7. 数字キーの[1]を押します。
 - ・初期化が実行されます。

7-6. ソングの初期化

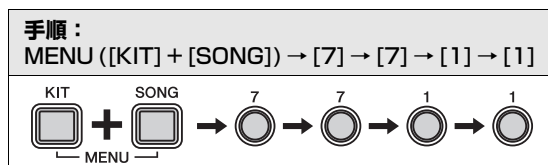


設定を変更したソングを購入時の状態に戻すことができます。ソングを元の状態に戻したいときは初期化を行います。

【注 記】 ソングの初期化を実行すると、ソングの元の内容は消去されます。よく確認してから実行してください。

1. [SONG] ボタンを押します。
2. 数字キーの[1]～[10/0]で、初期化したいソングを選びます。
3. [KIT] ボタンを押しながら[SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
4. 数字キーの[7]を押して“その他設定”を選びます。
5. 数字キーの[6]を押して“ソングの初期化”を選びます。
 - ・数字キーの[1]が点灯します。
6. 数字キーの[1]を押します。
 - ・数字キーの[1]が点滅します。
 - ・初期化をやめたいときは、[KIT] ボタンを押してメニューモードから抜けます。
7. 数字キーの[1]を押します。
 - ・初期化が実行されます。

7-7. 電源オン時の状態に復元

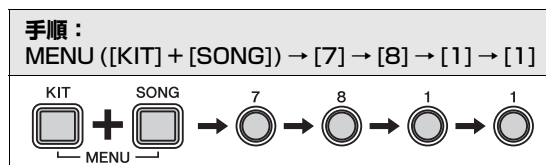


すべてのデータ(キット、ソング、メニュー)を電源オン時の設定に戻します。

注記 電源オン時の状態に復元を実行すると、電源を入れてから設定した内容は消去されます。よく確認してから実行してください。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの [7] を押して “その他設定” を選びます。
3. 数字キーの [7] を押して “電源オン時の状態に復元” を選びます。
 - ・数字キーの [1] が点灯します。
4. 数字キーの [1] を押します。
 - ・数字キーの [1] が点滅します。
 - ・初期化をやめたいときは、[KIT] ボタンを押してメニューモードから抜けます。
5. 数字キーの [1] を押します。
 - ・初期化が実行されます。

7-8. ファクトリーセット



すべてのデータ(キット、ソング、メニュー)を初期の状態(工場出荷時)の設定に戻します。

注記 ファクトリーセットを実行すると、設定したすべての内容は消去されます。よく確認してから実行してください。

1. [KIT] ボタンを押しながら [SONG] ボタンを押して、メニューモードに入ります。
2. 数字キーの [7] を押して “その他設定” を選びます。
3. 数字キーの [8] を押して “ファクトリーセット” を選びます。
 - ・数字キーの [1] が点灯します。
4. 数字キーの [1] を押します。
 - ・数字キーの [1] が点滅します。
 - ・初期化をやめたいときは、[KIT] ボタンを押してメニューモードから抜けます。
5. 数字キーの [1] を押します。
 - ・初期化が実行されます。

NOTE ファクトリーセットは [VOLUME+] ボタンと [VOLUME-] ボタンを押しながら電源を入れても行なえます。詳しくは20ページをご覧ください。

別売品を取り付ける

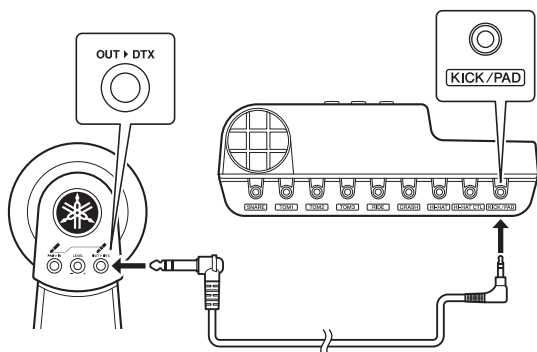
別売品を本体に接続して楽しむ方法をご紹介します。

DTX400Kをお買い求めのお客様

DTX400Kに付属のキックユニットKU100やハイハットコントローラーをグレードアップすることで、より生ドラムに近い打感で演奏を楽しめます。

■キックユニットKU100をキックパッド KP65(別売品)にグレードアップする

1. KP65を組み立てます。組み立て方法は17ページの手順13をご覧ください。
2. 本体の電源を切ります。
接続する前に、本体の電源が切れていることを確認してください。
3. KU100につながっていたプラグをKP65に差しかえます。プラグはKP65の裏側にある OUT ▶ DTX と書かれたジャックに接続します。



4. 本体の電源を入れます。
5. キックをKP65に設定します。メニューモードの“ペダルの種類”(48ページ)でキックをKP65に設定してください。
6. KP65を踏んで演奏します。

KU100をKP65にグレードアップするには、フットペダルを別途ご用意していただく必要があります。

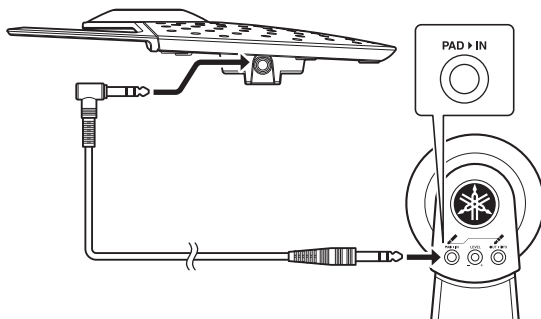
■ハイハットコントローラーをHH65(別売品)にグレードアップする

1. 本体の電源を切ります。
接続する前に、本体の電源が切れていることを確認してください。
2. 本体のハイハットコントローラーにつながれていたプラグをHH65のOUTPUT端子に差しかえます。
3. 本体の電源を入れます。
4. ハイハットコントローラーをHH65に設定します。
メニューモードの“ペダルの種類”(48ページ)でハイハットコントローラーをHH65に設定してください。
5. HH65を踏んで演奏します。

DTX430K/DTX450Kをお買い求めのお客様

■シンバルパッドPCY90AT(別売品)を増設する

1. 本体の電源を切ります。
接続する前に、本体の電源が切れていることを確認してください。
2. PCY90ATに付属のケーブルを用いて、シンバルパッドをキックパッドKP65のPAD ▶ INと書かれたジャックに接続します。



3. 本体の電源を入れます。
4. 増設したシンバルパッドを叩いて演奏します。

コンピューターに接続する

コンピューターに接続する

本体とコンピューターをUSBケーブルで接続することでMIDIデータを送受信でき、音楽制作ソフトウェアの入力機器として使えます。ここでは、本体とコンピューターの接続方法について説明します。

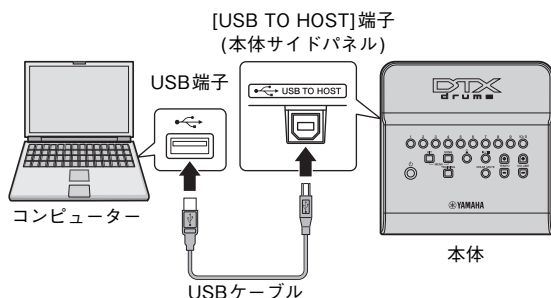
- NOTE**
- ・音を鳴らすには、本体にスピーカーやヘッドフォンを接続する必要があります。詳しくは、19ページをご覧ください。
 - ・USBケーブルは付属しておりません。本体をコンピューターと接続するときは、3メートル以下の、ABタイプのUSBケーブルをお買い求めください。

対応OS

- ・Windows XP SP3(32bit)、Windows Vista (32bit)、Windows 7 (32bit/64bit)
- ・Mac OS X Version 10.5.0 ~ 10.7.X

- 注記** 上記以外のOSのコンピューターを接続すると、コンピューターが故障する場合があります。また、上記以外のOSの場合、ヤマハ標準のUSB-MIDIドライバーもご使用できません。

1. 楽器の電源を切ります。
2. コンピューターを起動します。
コンピューター上のアプリケーションは、すべて終了してください。
3. 楽器のUSB(TO HOST)端子にUSBケーブルを接続し、次にコンピューターにUSBケーブルを接続します。



4. 楽器の電源を入れます。
コンピューターと楽器との間で通信ができるようになります。

■ヤマハUSB-MIDIドライバー

通常は上記手順で通信できるようになります。ただし、動作が不安定だったり不具合が発生した場合は、下記URLからヤマハ標準のUSB-MIDIドライバーをダウンロードし、インストールしてください。

<http://download.yamaha.com/jp/>

- NOTE**
- ・動作環境については、上記URLをご覧ください。
 - ・USB-MIDIドライバーは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。詳細および最新情報については、上記URLをご確認ください。

■[USB TO HOST]端子ご使用時の注意

[USB TO HOST] 端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。以下のことを行わないと、コンピューターや本体が停止(ハングアップ)して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本体が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動したり、本体の電源を入れなおしてください。

- 注記**
- ・USBケーブルは、ABタイプのものをご使用ください。また、3メートル以下のケーブルをご使用ください。
 - ・[USB TO HOST]端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。
 - ・本体の電源を入れる前に、[USB TO HOST]端子とコンピューターを接続してください。
 - ・本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。
 - * すべてのアプリケーションを終了させてください。
 - * 本体からデータが送信されていないか確認してください。(パッドを叩いたりパターンを再生させたりしても、本体からデータが送信されます。)
 - * 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行なってください。

MIDIリファレンスマニュアルについて

MIDIリファレンスマニュアルでは以下の資料を掲載しています。

- ・MIDIに関する資料
- ・コンピューターを使って音楽制作をするときに参照する資料
- ・コンピューターを使って本体にソングを転送する方法

下記URLからMIDIリファレンスマニュアル(PDF)をダウンロードしてください。

<http://download.yamaha.com/jp/>

※ ウェブサイトのURLは予告無く変更することがあります。

困ったときは

お困りの際は、別冊のMIDIリファレンスマニュアル(PDF)も併せてご覧ください。
MIDIリファレンスマニュアルのダウンロードについては、57ページをご覧ください。

パッドを叩いても音が鳴らない、または音量が小さい

■ 正しく接続されていますか？

- ・パッドが正しく本体のトリガー入力端子に接続されていますか？
- ・ヘッドフォンやアンプ/スピーカーなどの外部機器が正しく接続されているか確認してください。
- ・本体に接続しているアンプ/スピーカーの電源は入っていますか？またボリュームは下がっていませんか？
- ・ハイハットコントローラーとキックユニットのケーブルを逆に差ししていないですか？(DTX400Kの場合。17ページ)
- ・KP65をお使いの場合は、KP65のLEVELツマミを調節してください。
- ・KU100をお使いの場合には、電源を入れる前にハイハットコントローラーを接続してください。また電源オン時は、ハイハットコントローラーを踏まないでください。ペダルの自動判別がうまく作動せずに、キックの音が出にくくなる場合があります。

■ 本体の設定は正しいですか？

- ・本体の音量が下がっていませんか？(19ページ)
- ・メニューモードの“各パッドの音量”を設定し直してください。(42ページ)
- ・メニューモードの“ゲイン”を設定し直してください。(49ページ)
- ・メニューモードの“パッドのペロシティーカーブ”を設定し直してください。(46ページ)
- ・メニューモードの“クロストーク”を設定し直してください。(47ページ)
- ・メニューモードの“スネアパッドの種類”を設定し直してください。(48ページ)
- ・メニューモードの“ペダルの種類”を設定し直してください。(48ページ)
- ・メニューモードの“ローカルコントロール”を設定し直してください。(44ページ)

■ ハイハットのフットクローズ音が鳴らない

- ・ハイハットコントローラーをしっかりと踏み込んでください。
- ・メニューモードの“ツーバス”をオフにしてください。(43ページ)
- ・HH65をお使いの場合は、メニューモードの“フットクローズの位置”の値を小さくしてください。(45ページ)

意図しない音や音量で発音される

■ ハイハットスブラッシュの音がうまく出ない

- ・メニューモードの“ハイハットスブラッシュの感度”の値を調節してください。(45ページ)

■ ハイハットがクローズしにくい

- ・HH65をお使いの場合は、メニューモードの“フットクローズの位置”の値を調節してください。(45ページ)

■ ハイハットのフットクローズ音に強弱がつかない

- ・メニューモードの“ペダルの種類”を設定し直してください。(48ページ)
- ・DTX400Kに付属のハイハットコントローラーをお使いの場合はフットクローズ音に強弱が付きません。好みの音量(ペロシティー)に設定するにはメニューモードの“フットクローズのペロシティー”の値を調節してください。(45ページ)

■ 大きな音しか鳴らない(ペロシティーが常に大きい)

- ・キットの感度を調節してください。(23ページ)
- ・メニューモードの“ゲイン”の値が大きすぎると大きな音が鳴ります。(49ページ)
- ・メニューモードの“パッドのペロシティーカーブ”の値を調節してください。(46ページ)
- ・ヤマハ以外のパッドを使用していませんか？メーカーによっては出力が大きいものがあります。

■ それぞれのパッドから鳴る音の音量バランスが悪い

- ・メニューモードの“各パッドの音量”の値を調節してください。(42ページ)
- ・メニューモードの“ステレオ/モノラル”を設定し直してください。(53ページ)

■ [AUX IN] 端子に接続された携帯用音楽プレーヤーなどと本体の音量バランスが悪い

- ・携帯用オーディオプレーヤーなどの音量が適切かどうか確認してください。(19ページ)

■ ソングと自分が叩くドラムの音量バランスが悪い

- ・ソングの音量を調節してください。(25ページ)

パッドを叩いたときに二度鳴りする/叩いていないパッドの音が鳴る/音抜けする**■ ダブルトリガー (二度鳴り) を起こす**

- ・パッドやトリガーに出力や感度コントロールボリュームなどがある場合は、(下げる方向で)調節してください。
- ・メニューモードの“ゲイン”の値が大きすぎないか確認してください。(49ページ)


■ クロストーク (叩いたパッド以外のパッドが発音してしまう) を起こす

- ・メニューモードの“クロストーク”を適切な値に設定してください。(47ページ)

■ 音抜けを起こす

- ・メニューモードの“クロストーク”を適切な値に設定してください。(47ページ)

その他**■ 本体の設定が保存されない**

- ・本体の設定は、[

■ 本体の設定を購入時の状態に戻したい

- ・ファクトリーセット(初期化)を行なってください。(20ページ)

■ 本体の設定を電源投入時の状態に戻したい

- ・メニューモードの“電源オン時の状態に復元”を行なってください。(55ページ)

■ 1キットだけ購入時の状態に戻したい

- ・メニューモードの“キットの初期化”を行なってください。(54ページ)

■ 途中で電源が切れてしまう

- ・自動電源オフ(オートパワーオフ)を無効にしてください。(20ページ)

■ ソングを選ぶとキットが変更されてしまう

- ・ソングには最適なキットがあらかじめ割り当てられています。お好みのキットを選び、キットロックをオンにしてください。(53ページ)

■ ソングを切り替えたとき、キットが自動的に切り替わらない

- ・メニューモードの“キットロック”を解除してください。(53ページ)

■ ボイスナビゲーションが鳴らない

- ・メニューモードの“ボイスナビゲーションの音量”の値を確認してください。(53ページ)

データリスト

■キットリスト

1. Maple Custom

Maple Custom Absoluteの音色です。

パッド	ボイス番号	ボイス名
SNARE	22	MapleCustom
TOM1	45	Maple 1 H
TOM2	46	Maple 1 M
TOM3	47	Maple 1 L
RIDE	82	Warm Rd 20-1
CRASH	93	DarkCrash 18
HI-HAT	113	Bright 14
KICK	1	MapleCustom
PAD	89	WarmCrash 16

2. Oak Custom

Oak Customの音色です。

パッド	ボイス番号	ボイス名
SNARE	23	OakCustom
TOM1	51	Oak H
TOM2	52	Oak M
TOM3	53	Oak L
RIDE	81	Bright Rd 20
CRASH	88	BrightCr 18
HI-HAT	115	Dark 13
KICK	2	OakCustom
PAD	89	WarmCrash 16

3. Hard Rock

ツーバスのロックキットです。

パッド	ボイス番号	ボイス名
SNARE	25	HardRock
TOM1	57	HardRock H
TOM2	58	HardRock M
TOM3	59	HardRock L
RIDE	84	Warm Ride 22
CRASH	102	China 19
HI-HAT	116	Dark 14
KICK	5	HardRock
PAD	94	VividCrash 18

4. Vintage

70年代ドラムの音色です。

パッド	ボイス番号	ボイス名
SNARE	27	Vintage
TOM1	60	Vintage H
TOM2	61	Vintage M
TOM3	62	Vintage L
RIDE	86	Vintage Rd 22
CRASH	97	VintageCr 16
HI-HAT	118	Vintage 14
KICK	6	Vintage 24
PAD	98	VintageCr 18

5. Funk

ハイピッチなスneaが特徴です。

パッド	ボイス番号	ボイス名
SNARE	26	Funk
TOM1	54	Birch H
TOM2	55	Birch M
TOM3	56	Birch L
RIDE	83	Warm Rd 20-2
CRASH	91	DarkCrash 16
HI-HAT	117	Vivid 13
KICK	4	Birch 22
PAD	96	ThinCrash 16

6. Session

深胴スneaを使ったドライな音色です。

パッド	ボイス番号	ボイス名
SNARE	24	DeepOak
TOM1	48	Maple 2 H
TOM2	49	Maple 2 M
TOM3	50	Maple 2 L
RIDE	83	Warm Rd 20-2
CRASH	92	DarkCrash 17
HI-HAT	112	Bright 13
KICK	3	Oak 22
PAD	90	WarmCrash 18

7. Jazz

ジャズの演奏に適しています。

パッド	ボイス番号	ボイス名
SNARE	28	Jazz
TOM1	63	Jazz H
TOM2	64	Jazz M
TOM3	65	Jazz L
RIDE	82	Warm Rd 20-1
CRASH	85	Mellow Rd 18
HI-HAT	114	Bright 15
KICK	8	Jazz
PAD	87	Sizzle Ride

8. R&B

エレクトリック系の音色です。

パッド	ボイス番号	ボイス名
SNARE	39	HipHop 1
TOM1	69	T8-1 H
TOM2	70	T8-1 M
TOM3	11	T8-3
RIDE	109	R&B Ride
CRASH	100	Splash 12
HI-HAT	126	R&B
KICK	18	HipHop 1
PAD	99	Splash 10

9. Marching

マーチングの演奏に適しています。

パッド	ボイス番号	ボイス名
SNARE	29	FieldSnare
TOM1	67	Marching M
TOM2	66	Marching H
TOM3	68	Marching L
RIDE	105	Hand Mute
CRASH	104	Hand Open
HI-HAT	119	Percussion 1
KICK	160	GranCasaOpen
PAD	95	HeavyCrash 18

10. Percussion

パーカッションの音色で演奏できます。

パッド	ボイス番号	ボイス名
SNARE	151	Cajon
TOM1	130	Bongo H
TOM2	139	Cowbell 1 SW
TOM3	129	Conga L
RIDE	149	Shaker 2
CRASH	99	Splash 10
HI-HAT	120	Percussion 2
KICK	7	Vintage 18
PAD	103	Trash

■ソングリスト

番号	ソング名	解説
1	8beat Basic	基本的な8ビートの練習に適しています。
2	Hard Rock	少しアップテンポの70年代ハードロックです。
3	Electro Pop	4分音符でキックを演奏するエレクトロポップです。
4	Rock Shuffle	ハネタリズムのロックです。
5	Heavy Metal	ツーバスで演奏するヘビーメタルです。
6	16beat Rock	16ビートの練習に適したロックです。
7	Funk Rock	ミドルテンポのファンキーなロックです。
8	8beat Funk	8ビートを基本としたファンクです。
9	Slow Blues	スローテンポのブルースです。
10	4beat Jazz	ミドルテンポの4ビートジャズです。

■ ボイスリスト

Kick

- 1 MapleCustom
- 2 OakCustom
- 3 Oak 22
- 4 Birch 22
- 5 HardRock
- 6 Vintage 24
- 7 Vintage 18
- 8 Jazz
- 9 T8-1
- 10 T8-2
- 11 T8-3
- 12 T9-1
- 13 T9-2
- 14 T9 Hard
- 15 Electric
- 16 ElectricComp
- 17 ElectricClick
- 18 HipHop 1
- 19 HipHop 2
- 20 Break
- 21 DnB

Snare

- 22 MapleCustom
- 23 OakCustom
- 24 DeepOak
- 25 HardRock
- 26 Funk
- 27 Vintage
- 28 Jazz
- 29 FieldSnare
- 30 T8-1
- 31 T8-1 Clap
- 32 T8-2
- 33 T8-2 Clap
- 34 T9-1
- 35 T9-1 Clap
- 36 T9-2
- 37 T9-2 Clap
- 38 Analog
- 39 HipHop 1
- 40 HipHop 2
- 41 HipHop 3
- 42 R&B
- 43 Break
- 44 DnB

Tom

- 45 Maple 1 H
- 46 Maple 1 M
- 47 Maple 1 L
- 48 Maple 2 H
- 49 Maple 2 M
- 50 Maple 2 L
- 51 Oak H
- 52 Oak M
- 53 Oak L
- 54 Birch H
- 55 Birch M
- 56 Birch L
- 57 HardRock H
- 58 HardRock M
- 59 HardRock L
- 60 Vintage H
- 61 Vintage M
- 62 Vintage L
- 63 Jazz H
- 64 Jazz M
- 65 Jazz L
- 66 Marching H
- 67 Marching M
- 68 Marching L
- 69 T8-1 H
- 70 T8-1 M
- 71 T8-1 L
- 72 T8-2 H
- 73 T8-2 M
- 74 T8-2 L
- 75 T9-1 H
- 76 T9-1 M
- 77 T9-1 L
- 78 SynthTom H
- 79 SynthTom M
- 80 SynthTom L

Cymbal

- 81 Bright Rd 20
- 82 Warm Rd 20-1
- 83 Warm Rd 20-2
- 84 Warm Ride 22
- 85 Mellow Rd 18
- 86 Vintage Rd 22
- 87 Sizzle Ride
- 88 BrightCr 18
- 89 WarmCrash 16
- 90 WarmCrash 18
- 91 DarkCrash 16
- 92 DarkCrash 17
- 93 DarkCrash 18
- 94 VividCrash 18
- 95 HeavyCrash 18
- 96 ThinCrash 16
- 97 VintageCr 16
- 98 VintageCr 18
- 99 Splash 10
- 100 Splash 12
- 101 China 17
- 102 China 19
- 103 Trash
- 104 Hand Open
- 105 Hand Mute
- 106 Hand SW
- 107 T8 Ride
- 108 T9 Ride
- 109 R&B Ride
- 110 T8 Crash
- 111 SynthCrash

Hi-Hat

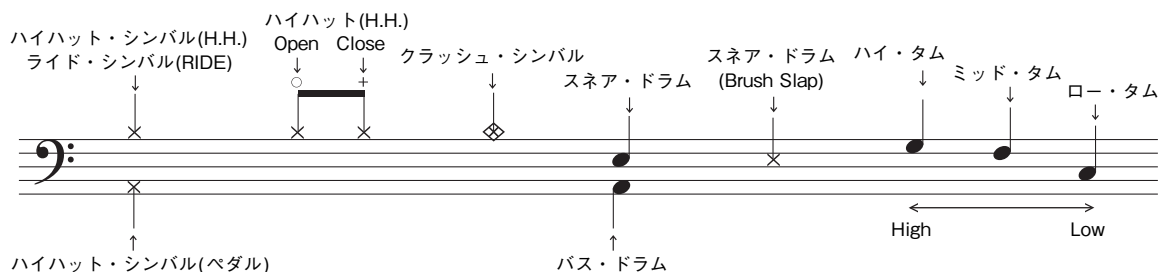
- 112 Bright 13
- 113 Bright 14
- 114 Bright 15
- 115 Dark 13
- 116 Dark 14
- 117 Vivid 13
- 118 Vintage 14
- 119 Percussion 1
- 120 Percussion 2
- 121 T8-1
- 122 T8-2
- 123 T9-1
- 124 T9-2
- 125 Analog
- 126 R&B
- 127 DnB

Percussion

- 128 Conga H
- 129 Conga L
- 130 Bongo H
- 131 Bongo L
- 132 Timbales H
- 133 Timbales L
- 134 PandeiroShake
- 135 Pandeiro Tap
- 136 PandeiroSlide
- 137 Tambourine 1
- 138 Tambourine 2
- 139 Cowbell 1 SW
- 140 Cowbell 2
- 141 Cowbell 3
- 142 Claves
- 143 Maracas
- 144 Triangle Open
- 145 Triangle Mute
- 146 WoodBlock H
- 147 WoodBlock L
- 148 Shaker 1
- 149 Shaker 2
- 150 Djembe
- 151 Cajon
- 152 Tabla Na 1
- 153 Tabla Na 2
- 154 Bayan Ge
- 155 Taiko Don
- 156 Taiko Ka
- 157 WindChime
- 158 Whistle S
- 159 Whistle L
- 160 GranCasaOpen
- 161 Metronome 1
- 162 Metronome 2
- 163 Clap
- 164 T9 Clap
- 165 Analog Clap 1
- 166 Analog Clap 2
- 167 HipHop Clap
- 168 AnalogCowbell
- 169 AnalogClaves

■ ドラム譜の見方

以下に示すドラム譜は市販の楽譜でよく使用されている記譜例です。



■ グルーボトラッカー / パッドゲートで使用する楽譜

① 8beat Basic

リード種類：シンバル+ハイハット 1

リード拍数：♪

♩ = 102

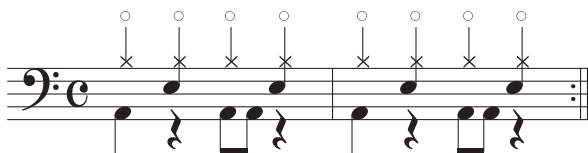


② Hard Rock

リード種類：シンバル+ハイハット 1

リード拍数：♪

♩ = 170

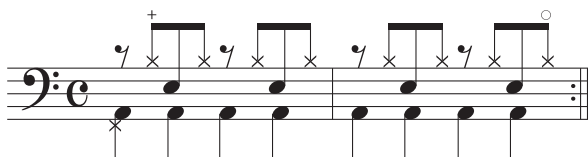


③ Electro Pop

リード種類：キック

リード拍数：♪

♩ = 125



④ Rock Shuffle

リード種類：シンバル+ハイハット 1

リード拍数：♪

♩ = 146

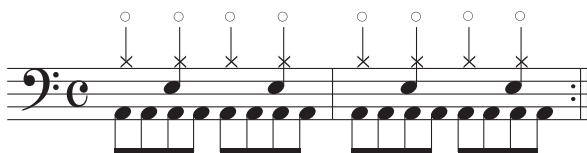


⑤ Heavy Metal

リード種類：キック

リード拍数：♪

♩ = 256

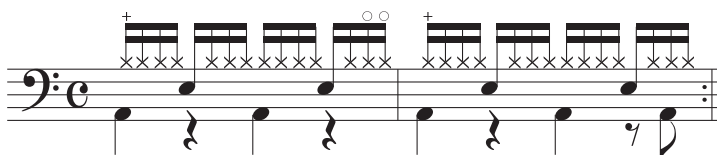


⑥ 16beat Rock

リード種類：スネア+ハイハット

リード拍数：♪

♩ = 148

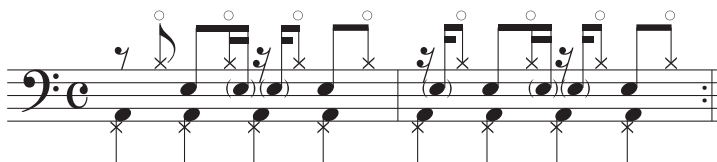


⑦ Funk Rock

リード種類：キック

リード拍数：♪

♩ = 107



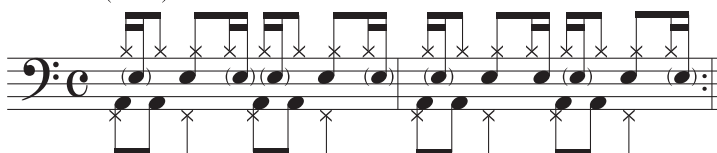
⑧ 8beat Funk

リード種類：シンバル+ハイハット 1

リード拍数：♪

♩ = 116

(RIDE)

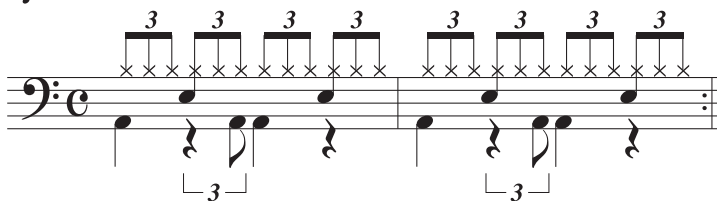


⑨ Slow Blues

リード種類：シンバル+ハイハット 1

リード拍数：♪

♩ = 56



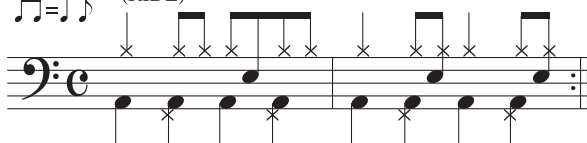
⑩ 4beat Jazz

リード種類：キック

リード拍数：♪

♩ = 132

(RIDE)



仕様






■音源モジュール

音源部	音源方式	AWM2
	最大同時発音数	32音
	ボイス数	ドラム/パーカッション：169音色 キーボード：128音色
	ドラムキット数	10キット(すべて編集/上書き保存可能)
	ソング数	10ソング
	リバーブ	9タイプ
クリック	テンポ	30～300/分(タップテンポ機能、音声ガイド機能)
	ビート	1/4～9/4
その他	接続端子	SNARE (ステレオミニフォン端子) TOM1 (モノラルミニフォン端子) TOM2 (モノラルミニフォン端子) TOM3 (モノラルミニフォン端子) RIDE (モノラルミニフォン端子) CRASH (モノラルミニフォン端子) HI-HAT (モノラルミニフォン端子) HI-HAT CTL (ステレオミニフォン端子) KICK/PAD (ステレオミニフォン端子) USB (TO HOST) AUX IN (ステレオミニフォン端子) PHONES/OUTPUT (ステレオ標準フォン端子) DC IN
	消費電力	5W
	電源アダプター	PA-3Cまたは同等のヤマハ推奨品
	寸法、質量	240(W)×188(D)×68(H)mm、0.5kg

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

索引

Symbols

[12V  +  -]端子	22
[](クリック)ボタン	21
[](スタンバイ/オン)スイッチ	21
[]ボタン	21
[AUX IN](外部入力)端子	22
[DRUM MUTE](ドラムミュート)ボタン	21
[KIT](キット)ボタン	21
[PHONES/OUTPUT]端子	22
[SONG](ソング)ボタン	21
[TEMPO](テンポ)ボタン	21
[TRAINING](トレーニング)ボタン	21
[USB TO HOST]端子	22, 57
[VOLUME](ボリューム)ボタン	21

Numerics

9ch マルチケーブル	8, 9, 10
-------------	----------

F

FP6110A	9, 10
---------	-------

H

HH65	9, 10, 24, 56
HI-HAT CTL (ハイハットコントロール)端子	22

K

KICK/PAD 端子	22
KP65	9, 10, 56
KU100	8, 56

M

MIDI 設定	44
MIDI リファレンスマニュアル	6, 57

P

PCY90AT	56
---------	----

T

TP70S	10, 24
-------	--------

U

USB-MIDI ドライバー	57
----------------	----

ア

脚パイプ	8, 9, 10
------	----------

イ

イージーセッション	35
-----------	----

ウ

ウイングボルト	8
ウイングボルト S	10

オ

オートパワーオフ	20
オートパワーオフ時間	53
オープン	24
オープンリムショット	24
音源モジュール	8, 9, 10
音色	41
音声ガイド	27, 29
音量	19

カ

外部オーディオ機器	22
各パッドの音色	42
各パッドの音量	42
各パッドのパン	43
楽譜	62
感度	23

キ

キックのペロシティー	46
キックユニット	8, 56
キット	23
キット設定	42
キットの初期化	54
キットリスト	60
キットロック	53

ク

組み立てる	11
クリック	27
クリック設定	41
グループチェック	30
グループトラッカー	36
グループトラッカーの戻り時間	50
グループトラッカーのリード種類	51
グループトラッカーのリード拍数	51
クローズ	24
クローズドリムショット	24
クロススティック	24
クロストーク	47

ケ

ケーブルバンド	8, 9, 10
携帯用音楽プレーヤー	19
ゲイン	49

コ

コードフック	19, 22
コンピューター	57

サ

最小レベル	49
採点機能	29
残響効果	43

シ

自動電源オフ	20
消音	26
シンバル/ハイハットパッド	8, 9, 10
シンバルパッド	8, 9, 10
シンバルホルダー	8, 9, 10

ス

数字キー	21
数字キーの光り方	42
ステレオ/モノラル	53
ステレオ定位	43
スネアパッド	8, 9, 10, 24
スネアパッドの種類	48
スピーカー	19

ソ

奏法	24
その他設定	53
ソング	25
ソングの初期化	54
ソングリスト	60

タ

タイマー	49
タイミング外の発音	50
タップテンポ	28
縦パイプ	8, 9, 10
タム1	8, 9, 10
タム1&2	8, 9, 10
タム2	8, 9, 10
タム3	8, 9, 10

チ

チェンジアップ	34
チューニングキー	8, 9, 10

ツ

ツバース	43
------	----

テ

データーリスト	60
電源アダプター	8, 9, 10, 19
電源オン時の状態に復元	55
テンポ	27
テンポアップ/ダウン	33

ト

同梱品	8, 9, 10
ドラムの派手さを競う	29
ドラムパターンを覚える	29

ドラムパターンを楽しむ	29
ドラム譜	62
トリガー設定	46
トリガー入力端子	22
トレーニング設定	49
トレーニングモード	29

ナ

難易度	31, 50
-----	--------

ノ

ノートナンバー	44
---------	----

ハ

パートミュート	38
ハイハットクラッチの位置	45
ハイハットコントローラー	8, 9, 10
ハイハットシンバル	24
ハイハットスブラッシュ	24
ハイハットスブラッシュの感度	45
ハイハット設定	45
ハイハットパッド	8, 9, 10
ハイハットホルダー	8, 9, 10
パターン	41
パッドゲート	37
パッドゲートのグループ設定	52
パッドのペロシティーカーブ	46
伴奏パート	25

ヒ

左サイドパネル	22
左パイプ	8, 9, 10
拍子	41

フ

ファクトリーセット	20, 55
ファストブラスト	39
ファストブラストのタイマー	52
フットクローズ	24
フットクローズの位置	45
フットクローズのペロシティー	45
フロントパネル	21

ヘ

ベダルの種類	48
ヘッドショット	24
ヘッドフォン	19
別売品	56

ホ

ボイスナビゲーションの音量	53
ボイスリスト	61

ミ

右サイドパネル	22
ミュート	26

メ

メジャーブレイク	32
メトロノーム	27
メニューモード	40

リ

リズム感を鍛える	29
リズムゲート	31
リバーブ	43
リビート再生	26
リム1	24
リム2	24

レ

練習曲	25
-----	----

ロ

ローカルコントロール	44
六角ロッド	10

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。
有寿命部品については、使用時間或使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

【有寿命部品の例】

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパットなど

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

●持込み修理のお願い

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りの修理品お持ち込み窓口へ本機をご持参ください。

●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

- ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-012-808

※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830

- 受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:00、土曜日 9:00～17:00 (祝日およびセンター指定休日を除く)
- FAX：東日本(北海道/東北/関東/甲信越) 03-5762-2125
西日本(沖縄/九州/中国/四国/近畿/東海/北陸) 06-6465-0367

◆修理品お持ち込み窓口

- 受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:45 (祝日および弊社休業日を除く)
*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F	FAX 03-5762-2125
名古屋サービスステーション	〒454-0832	名古屋市中川区清船町4丁目1-11 ピアノ運送株式会社 名古屋営業所1F	FAX 052-363-5903
西日本サービスセンター	〒554-0024	大阪市此花区島屋6丁目2-82 ユニバーサル・シティ和幸ビル9F	FAX 06-6465-0374
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2丁目11-4 ヤマハビル2F	FAX 092-472-2137

* 名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

■ユーザーサポートサービスのご案内

- 電子ドラムの機能や取り扱いについては、最寄りの特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口

- ナビダイヤル



0570-013-808

※全国どこからでも市内通話料金でおかけいただけます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-411-4744

- 営業時間：月曜日～金曜日 10:00～18:00、土曜日 10:00～17:00 (祝日およびセンター指定休日を除く)
- <http://jp.yamaha.com/support/>

ヤマハ電子ドラム製品ウェブサイト：<http://jp.yamaha.com/dtx/>

ヤマハダウンロード：<http://download.yamaha.com/jp/>

* 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。



WZ87630

ヤマハ電子ドラム製品ウェブサイト
<http://jp.yamaha.com/dtx/>

ヤマハダウンロード
<http://download.yamaha.com/jp/>

Manual Development Department
© 2012 Yamaha Corporation

2015年12月 改訂 POZC*.*-**D0
Printed in Indonesia

WZ87630